

平成 19 年度
情報収集事業報告書
第 5 号

クォーターリー・レビュー

資源メジャーの
2007 年第 2 四半期動向

平成 19 年 11 月

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

はじめに

世界的な金属資源価格の高騰を受け、鉱物資源の大輸入国である我が国では原料資源調達が急務となってきており、これら鉱物資源を安定的に確保するためには、その需給の状況・動向等を的確に把握することが不可欠である。

また、我が国の海外鉱山開発事業の円滑な推進を支援するために、マクロ的な需給動向のみならず、世界の鉱山・プロジェクト、探鉱開発の動向を常時注視し、企業活動の推移と傾向を分析調査することは、大変意義のあることと考える。

本報告書は、このような状況を踏まえ、国際金属研究会（銅、鉛・亜鉛、ニッケル）のマンスリーレポート等をベースにしたマクロな需給動向調査に加え、世界の資源メジャー企業のクォーターレポート、各国統計機関の発表等により経営・生産状況、探鉱開発等の動向をレビューし、「クォーター・レビュー」としてとりまとめたものである。

最後に、本報告書が関係各位の参考となれば幸いです。

平成 19 年 11 月

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構
金属資源開発本部 企画調査部

おことわり:本報告書の内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行ってはおりますが、本報告書の内容に誤りのある可能性もあります。本報告書に基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及び執筆者は何らの責任を負いかねます。

クォーターリー・レビュー

－資源メジャーの2007年第2四半期動向－

目 次

はじめに

I. ベースメタルの国際市況と需給動向	1
1. 銅	1
2. 鉛	4
3. 亜鉛	6
4. ニッケル	9
II. 世界の主要生産者の動向	11
1. 銅企業の動向	11
2. 亜鉛企業の動向	12
3. ニッケル企業の動向	13
III. 主要企業の2007年第2四半期動向レビュー	14
1. Corporación Nacional del Cobre, Chile (CODELCO)	14
2. BHP Billiton Limited	16
3. Grupo Mexico	20
4. Rio Tinto plc	22
5. Freeport-McMoRan Copper & Gold Inc. (FCX)	24
6. KGHM Polska Miedź S.A. (KGHM)	28
7. Antofagasta plc	29
8. Anglo American plc	30
9. Barrick Gold Corporation	32
10. Newmont Mining Corporation	33
11. Teck Cominco Limited	34
12. Peñoles	36
13. Aneka Tambang (Antam)	38
14. CVRD (リオドセ) : Companhia Vale do Rio Doce *USGAAPに基づく統計	42
15. Xstrata Plc	43
16. Kazakhmys	45
17. Glencore International AG	46

IV. その他企業の動向、主要国の生産統計	49
1. 豪州企業	49
2. 中国企業	80
V. 主要国、主要鉱山の生産統計	81
1. 主要国の生産統計	81
(1) チリ	
(2) ペルー	
(3) ボリビア	
(4) メキシコ	
(5) オーストラリア	
(6) 中国	
2. 主要鉱山の生産統計	87
(1) Grasberg 鉱山	
(2) Morenci 鉱山	
(3) Antamina 鉱山	

※クォーターリー・レビューでは、「今後の鉱山・製錬所能力予測」を掲載していましたが、国際銅研究会の発表が遅いためクォーターリー・レビューの発行が遅くなる原因となっていました。したがって、今後、ページの掲載をとりやめ、少しでも早くクォーターリー・レビューを発行できるように努めたいと思いますので、御理解いただきますようお願いいたします。

なお、「今後の鉱山・製錬所能力予測」に関するデータは、金属資源情報センター（『DIRECTORY OF COPPER MINES AND PLANTS』（ICSG））で御覧になれます。

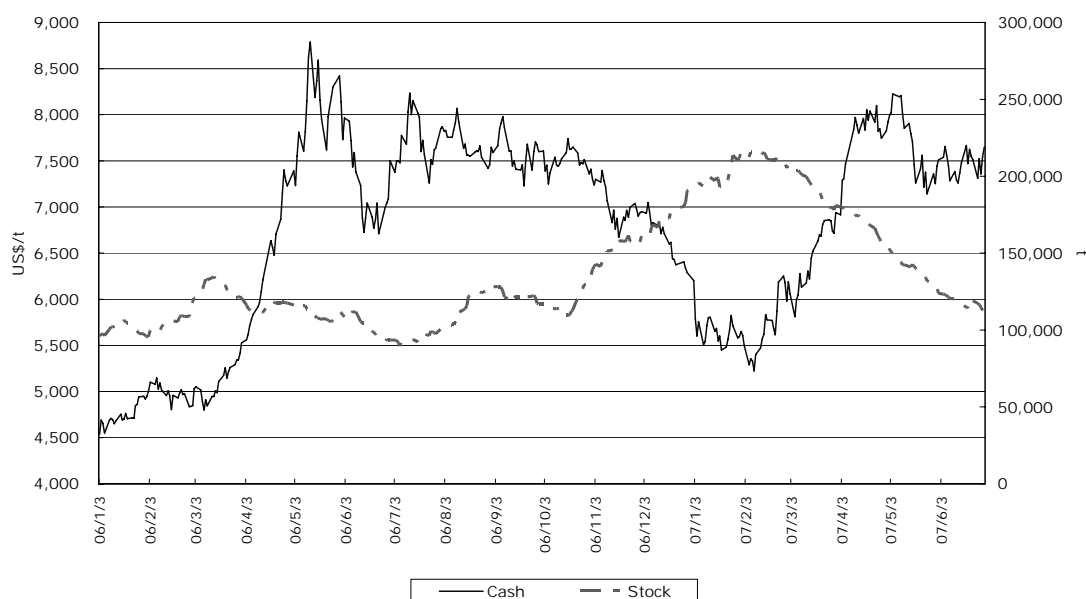
I. ベースメタルの国際市況と需給動向

1. 銅

1. 銅の LME 価格は、供給不足な状態が続いたため 5,200US\$/t 台から 8,200US\$/t 台と依然高い水準で推移した。
2. 2007 年 1～6 月の世界消費は前年同期比 8.3%増。鉱山生産は 4.9%増。地金生産は 4.3%増。
3. 2007 年 1～6 月の需給バランスは、343 千 t の供給不足。

(1) 国際価格(1～6月)

LME 銅価格は、2007 年 1～6 月に 5,200～8,200US\$/t 台で推移した。2007 年に入り、供給不足の状態が続いたため、再び投機資金の流入が活発化し乱高下しつつ依然高い水準にある。1 月 2 日に 6,201US\$/t でスタートした後は、2 月 8 日に一旦 5,226US\$/t まで下落した後は上昇傾向にあり、5 月 4 日に 8,225US\$/t まで上昇した。その後は、上下しつつも緩やかな下降傾向に転じ 6 月 29 日に 7,650US\$/t で終了した。



出典：LME

銅地金価格と在庫の推移

(2) 需給(1~6月)

【需要】

2007年1~6月の世界消費は前年同期比8.3%増の9,272千tであった。世界消費は3月1,594千t、4月1,592千t、5月1,547千t、6月1,544千tと推移している。国別では、2位米国が2.7%減、4位日本が1.9%減、5位韓国が0.9%減だったものの、最大消費国の中国が37%と大幅増、3位ドイツが1%増となり全体として増加した。

【供給】

2007年1~6月の鉱山生産(金属純分、以下同様)は前年同期比4.9%増の7,609千tであった。鉱山生産は3月1,352千t、4月1,254千t、5月1,300千t、6月1,266千tと推移している。鉱山設備稼働率は3月91.1%、4月87%、5月87%、6月87.2%と推移している。国別では、2位米国が2%減、5位豪州が0.9%減であったが、最大生産国のチリが4.7%増、3位ペルーが8.6%増、4位インドネシアが40.6%と大幅増となり全体として増加した。

2007年1~6月の地金生産は前年同期比4.3%増の8,929千tであった。地金生産は3月1,499千t、4月1,496千t、5月1,530千t、6月1,493千tと推移している。精錬所設備稼働率は3月81.9%、4月84.1%、5月82.8%、6月83.1%と推移している。国別では、4位米国2.3%減となったが、最大生産国の中国が7.3%増、2位チリで10.1%増、3位日本3.6%増、5位ロシア7.6%増となり全体として増加した。

【需給バランス】

2007年1~6月の銅需給バランスは343千tの供給不足であった。1月9千t、2月73千t、3月95千t、4月96千t、5月16千t、6月51千tと供給不足で推移している。季節調整後の需給バランスでも1月2千t、2月51千t、3月に33千t、4月に46千tと供給不足が続き、5月に一旦25千tの供給超過となったが、6月に11千tと供給不足で推移している。

LME在庫は年初から減少傾向にあり、1月末に212千t、2月末208千t、3月末に178千t、4月末に157千t、5月末129千t、6月末に115千tと推移している。

銅の需給状況

(単位：千t)

銅	2006年					2007年			前年同期比(%)	対前期比(%)
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	2006 年計	第1 四半期	第2 四半期	上半期		
鉱山生産量	7,254	3,691	3,639	4,100	15,008	3,790	3,820	7,609	4.9	0.8
地金生産量	8,561	4,319	4,337	4,480	17,331	4,412	4,519	8,929	4.3	2.4
一次	7,359	3,731	3,717	3,842	14,865	3,796	3,865	7,648	3.9	1.8
二次	1,202	589	619	638	2,466	616	654	1,281	6.6	6.2
消費量	8,558	4,369	4,266	4,218	16,994	4,589	4,683	9,272	8.3	2.0
需給バランス	3	-50	71	262	337	-177	-163	-343	-	-

※データは国際銅研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際銅研究会資料

(3) 今後の見通し(国際銅研究会予測)

2007年の銅世界消費は前年比4.7%増(800千t増)の17,800千tとなる見込み。中国での伸びが目立つが、それとともにインド、ロシアの消費が継続的に伸びている。米国、日本は前年並みで欧州は2006年の高いレベルから減少する。2008年の銅世界消費は前年比3.6%増(640千t増)の18,430千tとなる見込み。

2007年の銅鉱山生産は前年比6.3%増(940千t増)の15,970千tとなる見通し。これは新規鉱山開発や生産能力の増加によるものである。2006年の生産量はチリ、インドネシア、メキシコでの生産障害により前年並みとなった。2008年の銅鉱山生産は前年比7.3%増(1,200千t増)の17,130千tとなる見通し。2007年、2008年ともにSX-EW生産は精鉱生産より伸び率が高くなる見込み。

2007年の銅地金(一次、二次含む)生産については前年比4.3%増(740千t増)の18,070千tとなる見込み。また、2008年の銅地金生産については前年比4.9%増(880千t増)の18,950千tとなる見込み。電解精錬生産は中国、インド、日本で増加し、SX-EW生産はチリ、アフリカ、米国で増加する見込みで、これらが世界の増加の大部分を占める。2006年に精鉱在庫が大いに消費されたこともあり、2007年、2008年の精鉱生産が地金生産の伸びを抑制すると予測される。

需給バランスは、2005年まで供給不足であったが、2006年以降は供給超過に転じる。2007年に280千t、2008年に520千tと供給超過が拡大する見込み。

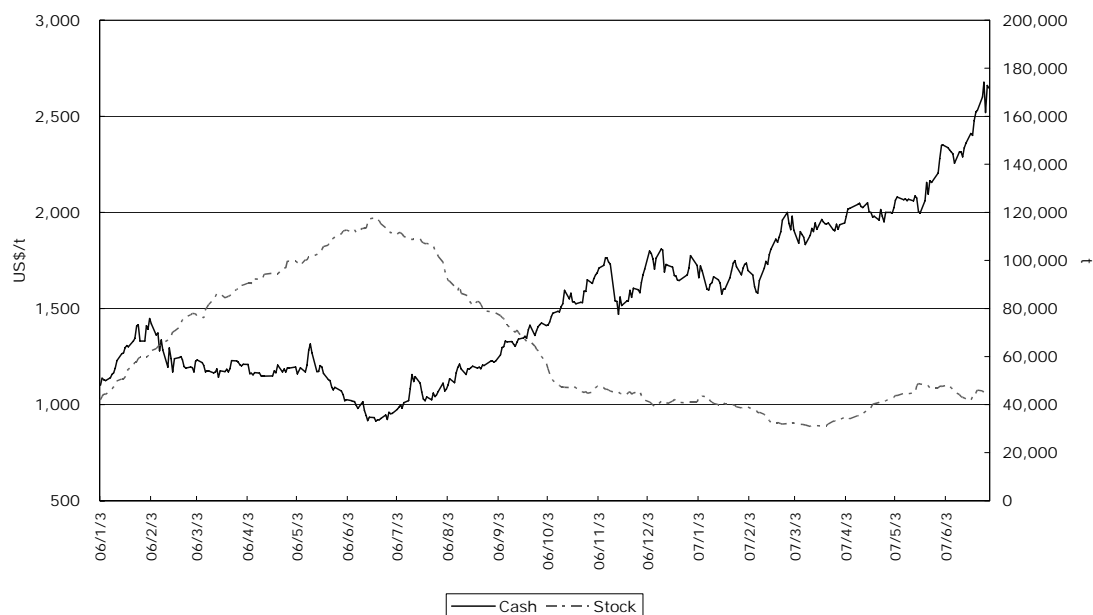
また、関係機関の予測によると2007年の需給バランスは132千t、2008年は326千tの供給超過となる見込である。

2. 鉛

1. 鉛の国際価格は需給のタイト化を受け高い水準にあり、史上最高値を更新し 2,600US\$/t に達した。
2. 2007年1～6月の消費は前年同期比 2.9%増。鉱石生産は、3%増。地金生産は 2.2%増。
3. 2007年1～6月の世界の需給バランスは 24千tの供給超過。

(1) 国際価格(1～6月)

LME 鉛価格は需給のタイト化を受け、1,500US\$/t 台後半から 2,600US\$/t 台と高い水準で推移している。1月2日に 1,725US\$/t でスタートした後、1月17日に 1,575US\$/t まで下落した。その後は乱高下を繰り返しつつ史上最高値を更新し続け 2月末に 2,000US\$/t 台、5月末に 2,300US\$/t 台、6月下旬に 2,500US\$/t 台と急伸した。6月26日には史上最高値の 2,677US\$/t に達した。その後 6月29日に 2,647US\$/t と高い水準で終了した。



出典：LME

鉛地金価格と在庫の推移

(2) 需給(1~6月)

【需要】

2007年1~6月の世界消費は前年同期比で2.9%増の4,101千tであった。2位米国が7%減となったが、最大消費国の中国が21%と大幅増、3位ドイツが4.2%増、4位韓国が1.8%増、5位日本が9.2%増となり全体として増加した。

【供給】

2007年1~6月の鉱山生産は前年同期比3%増の1,775千tであった。2位豪州が4.3%減、5位メキシコが13.3%減であったが、最大生産国の中国が8.9%増、3位米国が0.5%増、4位ペルーが6.7%増となり全体として増加した。

2007年1~6月の地金生産は前年同期比2.2%増の4,125千tであった。3位ドイツが1%減、4位日本0.7%減、5位英国が13.6%減であったが、最大生産国の中国が5%増、2位米国が1.7%増となり全体として増加した。

【需給バランス】

2007年1~6月の需給バランスは、米国備蓄放出を考慮すると24千tの供給超過となった。

LME在庫は2007年に入り2月末約32千tまで減少したが、緩やかな回復傾向にあり、4月末約42千t、5月末約48千t、6月末約45千tと推移している。

鉛の需給状況

(単位：千t)

鉛	2006年					2007年			前年同期比(%)	対前期比(%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期	第2四半期	上半期		
鉱山生産量	837	863	863	857	3,442	877	899	1,775	3.0	2.5
地金生産量	1,999	2,038	1,873	2,036	7,937	2,009	2,117	4,125	2.2	5.4
米国備蓄放出	9	7	0	0	17	0	0	0	-	-
消費量	1,926	2,009	1,964	2,035	7,953	2,028	2,072	4,101	2.9	2.2
需給バランス	83	36	-91	1	1	-20	44	24	-	-

※データは国際鉛亜鉛研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際鉛亜鉛研究会資料

(3) 今後の需給見通し(国際鉛亜鉛研究会予測)

2007年の世界の鉛地金消費は前年比4.1%増の8,260千tと見込まれる。この伸びは主に自動車生産台数が顕著に伸びる中国での消費が12.4%増となるためである。欧州では2%の伸び、米国では1.3%減となる見込みである。

2007年の世界の鉛鉱山生産は前年比10.7%増の3,790千tと見込まれる。これは中国での11.9%といった大きな伸び、Magellan 鉱山の一時休止にかかわらず豪州で16.4%増となるためである。この他、ボリビア、カナダ、メキシコ、ロシア、スウェーデン、南アフリカでも増産が見込まれる。

2007年の世界の鉛地金生産は中国の6.3%増、欧州の3.3%増の他、豪州、カザフスタン、韓国、米国の増産により前年比3.8%増の8,210千tとなる見込みである。

2007年の需給バランスは50千tの供給不足となる見込みである。

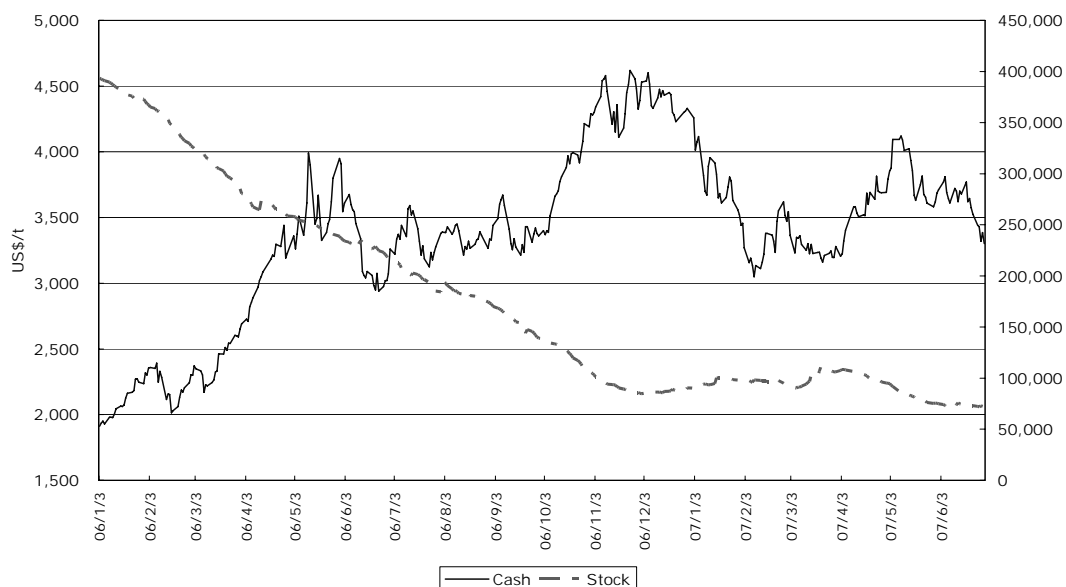
また、関係機関の予測によると、2007年には28千tの供給不足、2008年には75千tの供給超過となる見込みである。

3. 亜鉛

1. 亜鉛の国際価格は、需給がタイトなことにより、再び上昇傾向に転じた。
2. 2006年1～6月の消費は前年同期比4.6%増。鉱山生産は9.3%増。地金生産は9.8%増。
3. 2006年1～6月の世界の需給バランスは36千tの供給超過。

(1) 国際価格(1～6月)

LME 亜鉛価格は1～6月は需給がタイトなこともあり、乱高下しつつ3,000～4,200US\$/t 台で推移した。1月2日に4,259US\$/t でスタートした後は減少傾向にあり、2月8日に3,050US\$/t まで下落した。その後は乱高下しつつも上昇傾向に転じ5月9日に4,120US\$/t まで上昇した。その後、上下はあったものの再び減少傾向に転じ6月29日3,301US\$/t と依然高い水準で終了した。



出典：LME

亜鉛地金価格と在庫の推移

(2) 需給(1~6月)

【需要】

2007年1~6月の世界消費は前年同期比で4.6%増の5,659千tであった。2位の米国が9%減、5位韓国11.2%減となったが、最大消費国の中国が12.3%、3位日本が1.7%増、僅差で4位のドイツが5.4%増となり全体として増加した。

【供給】

2007年1~6月の鉱山生産は前年同期比で9.3%増の5,603千tであった。5位カナダが4.1%減となったが、最大生産国の中国が19%増、2位ペルーが27.6%と大幅増、3位豪州が3.1%増、4位の米国が5.9%増となり全体として増加した。

2007年1~6月の地金生産は前年同期比で9.8%増の5,690千tであった。2位カナダが3.4%減、4位日本が1.7%減、5位スペインが前年並みとなったが、最大生産国の中国が24.5%と大幅増、3位韓国が3.9%増となり全体として増加した。

【需給バランス】

2007年1~6月の需給バランスは年初の供給超過傾向が4月より供給不足に転じ、供給超過の傾向が弱まっている。その結果、米国備蓄放出を考慮すると36千tの供給超過となった。

LME在庫量は3月末106千tまで回復したが、4月末96千t、5月末76千t、6月末73千tと再び減少傾向となり、依然低い水準である。

亜鉛の需給状況

(単位：千t)

亜鉛	2006年					2007年			前年同期比(%)	対前期比(%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期	第2四半期	上半期		
鉱山生産量	2,521	2,646	2,646	2,623	10,400	2,684	2,920	5,603	9.3	8.8
地金生産量	2,580	2,677	2,652	2,834	10,672	2,821	2,870	5,690	9.8	1.7
米国備蓄放出	11	8	12	-2	28	1	4	5	-	-
消費量	2,722	2,790	2,754	2,811	11,049	2,762	2,897	5,659	4.6	4.9
需給バランス	-131	-106	-90	21	-342	59	-24	36	-	-

※データは国際鉛亜鉛研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際鉛亜鉛研究会資料

(3) 今後の需給見通し(国際鉛亜鉛研究会予測)

2007年の世界の亜鉛地金消費は主にアジアでの伸びを受け、前年比4%増の約11,450千tと見込まれる。中国の消費は亜鉛鋼板の増産により8.4%の伸びとなる見込みである。消費はインド、日本、韓国、台湾、タイでも増加する見込みである。

欧州では、ロシア、スペインでの伸びとイタリアの需要回復がドイツでの減少を打ち消し全体で1.5%増となる見込みである。米国の消費は前年並みとなる見込みである。

2007年の世界の亜鉛鉱山生産は豪州、ボリビア、カナダ、中国、カザフスタン、ペルー、ロシア、米国等を含む多数の国での増加により前年比9.4%増11,350千tと見込まれる。

2007年の世界の亜鉛地金生産は前年比6.9%増の11,400千tと見込まれる。中国は精錬能力が拡張し続けているため14.7%と大きく伸びる見込みである。他に、豪州、ベルギー、ドイツ、メキシコ、ポーランド、ロシア、スペインでも増加が見込まれている。

2007年の需給バランスは約40千tの供給不足となる見込である。

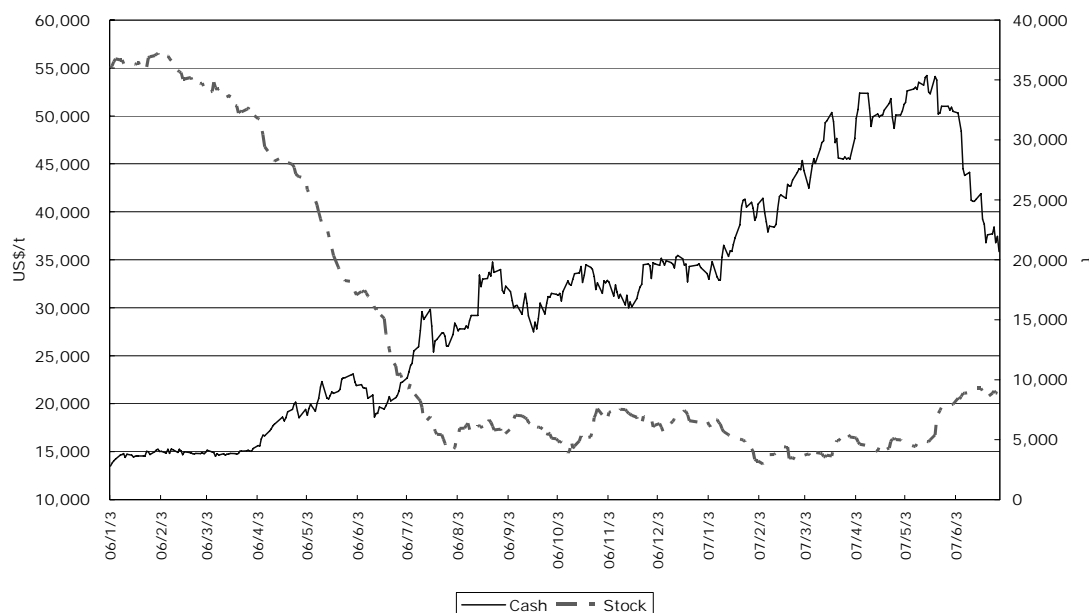
また、関係機関の予測によると、2007年には20千tの供給不足、2008年には534千tの供給超過となる見込である。

4. ニッケル

1. ニッケルの国際価格は需給がタイトなこともあり、史上最高値を更新した。
2. 2007年1～3月の世界消費は前年同期比8.2%増。鉱山生産は8.8%増。地金生産は9%増。
3. 2007年1～3月の世界の需給バランスは5千tの供給超過。

(1) 価格(1～6月)

LME ニッケル価格は需給がタイトで引き続き投機資金の流入が活発なこともあり、1月から5月は32,000US\$/t台から54,000US\$/t台と高値かつ上昇傾向で推移した。1月2日に33,550US\$/tでスタートした後は一旦、1月10日に32,900US\$/tまで下落したが、その後は乱高下しつつも、史上最高値更新を続け5月16日には54,200US\$/tまで達した。その後、需給が緩和したこと、6月に入りLMEが大口保有者の取引制限したことにより下落し6月29日に35,850US\$/tで終了した。



出典：LME

ニッケル地金価格と在庫の推移

(2) 需給(1~6月)

【需要】

ニッケルの1~6月の世界消費は前年同期比で3.2%増の705千tであった。第2位の日本が4%減、第4位ドイツが2.7%減、第5位の台湾が2.2%減となったが、第1位の中国が37.7%と大幅増、第3位米国が1.1%増となり全体として増加した。

【供給】

ニッケルの1~6月の鉱山生産は前年同期比で10.9%増の803千tであった。第1位ロシア3.8%増、第2位カナダ3.6%増、第3位インドネシアが34.9%と大幅増、第4位豪州が6.8%増、第5位ニューカレドニアが16.6%増と世界的な増加傾向により全体として増加した。

ニッケルの1~6月の一次生産は前年同期比で12%増の745千tであった。第1位ロシアが0.4%増、第2位となった中国が111.3%とほぼ倍増、第3位の日本が5.4%増、第4位カナダが8%増、第5位豪州が4.5%増と世界的な増加傾向により全体として増加した。

【需給バランス】

1~6月の需給バランスは、41千tの供給超過となった。

LME在庫は1月末の4千t、2月末の3.3千t、3月末には5.4千t、4月末の5千tと推移していたが、5月末の7.9千t、6月末には8.9千t回復傾向にある。

ニッケルの需給状況

(単位：千t)

ニッケル	2006年					2007年			前年同期比(%)	対前期比(%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期	第2四半期	上半期		
鉱山生産量	355	369	361	388	1,474	398	405	803	10.9	1.7
一次生産量	334	332	326	358	1,350	361	384	745	12.0	6.3
消費量	334	350	353	359	1,396	363	342	705	3.2	-5.8
需給バランス	0	-18	-27	-1	-46	-2	42	41	-	-

※データは国際ニッケル研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際ニッケル研究会

(3) 今後の見通し(国際ニッケル研究会予測)

2007年のニッケル消費は前年比1.5%増の1,414千t、ニッケル一次生産は同8.9%増の1,478千tとなる見込みで、需給バランスは約64千tの供給過剰と予測している。また、中国におけるフェロニッケルの生産増加が、今後さらに加速するとの見通しである。

II. 世界の主要生産者の動向

1. 銅企業の動向

主要銅生産企業 15 社を対象としている。Xstrata、Barrick Gold については 2006 年の詳細なデータがなかった。1 位 CODELCO は各鉱山での鉱石品位の低下、落盤事故、火災の発生により、前年同期比 5.6%減であった。2 位 Freeport McMoRan は Cerro Verde 鉱山の生産開始、Grasberg 鉱山の回復等により 21.4%と大幅増であった。3 位 BHP Billiton は Escondida 鉱山の増産(主に SX-EW 部分)、Spence 鉱山(SX-EW)の生産開始により 10.9%増、5 位 Rio Tinto は Bingham Canyon 鉱山、Northparks 鉱山の減産により 6.5%減、6 位 Anglo American は Los Bronces 鉱山、Mantos Blancos 鉱山の増産により 2.8%増、7 位 Grupo Mexico は 16.1%増、8 位 KGHM は 4.1%減、9 位 Antofagasta は El Tesoro 鉱山の増産により 2%増、10 位 Kazakhmys は Kounrad 鉱山での生産の遅れ等により微減、11 位 Norilsk は 7.8%減、12 位 Teck Cominco は Highland Valley 鉱山での品位低下による減産、Antamina 鉱山からの出荷の遅れにより 12.4%減、13 位 CVRD は Inco 買収により Sudbury 鉱山を取得したことにより、3 倍弱へと劇的に増加(旧 Inco 分を前年生産に含めた場合は 21.8%増)、15 位 Newmont は前年同期並であった。

主要銅鉱山生産者の生産実績

単位：千 t

	2006 年 第 1 四半期	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2006 年 合計	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期	前年 同期比(%)
1 CODELCO	377	476	381	549	1,783	382	423	-5.6
2 Freeport McMoRan	375	387	427	423	1,612	485	440	21.4
3 BHP Billiton	319	312	250	301	1,181	358	342	10.9
4 Xstrata	-	-	-	-	1,011	449		-
5 Rio Tinto	203	207	183	210	803	198	186	-6.5
6 Anglo American	300		344		644	308		2.8
7 Grupo Mexico	161	124	141	180	606	172	159	16.1
8 KGHM	136	136	140	144	556	129	132	-4.1
9 Antofagasta	107	101	126	131	466	106	106	2.0
10 Kazakhmys	95	108	111	120	434	105	97	-0.5
11 Norilsk	109	109	101	106	425	101	100	-7.8
12 Teck Cominco	59	62	63	70	254	53	53	-12.4
13 CVRD	22	30	32	84	168	77	68	178.8
14 Barrick Gold	-	45	43	45	133	45	46	-
15 Newmont	19	28	24	36	107	23	24	0.0
15 社計	2,282	2,125	2,367	2,398	10,183	2,611	2,556	17.2

*数値は基本的に鉱山生産量で各社ホームページが出典

*「前年同期比」は累積比であり、各年の半期毎の比較となる。

*Phelps Dodge は Freeport McMoRan に 2007 年 3 月買収された。Freeport McMoRan の数値は両社の合計である。

*1: BHP Billiton は地金生産(SX-EW)を含む

*2: KGHM は地金ベースの発表

2. 亜鉛企業の動向

主要な亜鉛生産企業 10 社と中国を対象としている。Xstrata、Glencore、Volcan については詳細なデータが無かった。2 位 Teck Cominco は Red Dog 鉱山、Antamina 鉱山の増産により前年同期比 12.8%増、3 位 Zinifex は Century 鉱山、Rosebery 鉱山での増産により 2.4%増と回復、5 位 Vedanta、6 位 Anglo American は微減となった。7 位 Boliden は Tara 鉱山での品位向上により 3.7%増であった。9 位 Penoles は詳細は不明であるが 17.2%減であった。10 位 BHP Billiton は Antamina 鉱山の増産により 33.8%と大幅増となった。

主要亜鉛鉱山生産者の生産実績

単位：千 t

		2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2006年 合計	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	前年 同期比(%)	出 典
1	Xstrata	-	-	-	-	670	377		-	
2	Teck Cominco	150	154	174	148	626	167	176	12.8	1
3	Zinifex	148	151	136	143	578	143	164	2.4	1
4	Glencore	-	-	-	-	516	-	-	-	2
5	Vedanta	125	131	125	128	509	121	134	-0.4	1
6	Anglo American	170		165		335	169		-0.8	1
7	Boliden	89	80	76	82	328	89	87	3.7	1
8	Volcan	-	-	-	-	295	-	-	-	2
9	Penoles	53	54	48	51	206	50	39	-17.2	1
10	BHP Billiton	28	28	24	20	100	36	39	33.8	1
	中国	648	708	661	731	2,837	748	884	20.4	3
	10社+中国の計	1,326	1,391	1,326	1,385	6,998	1,625	1,795	-	

出典 1：各社ホームページ、2：Raw Material Data、3：国際鉛亜鉛研究会

*「前年同期比」は累積比であり、各年の半期毎の比較となる。

*Xstrata、Anglo American は半期レポートしか出ていないため、半期レポートの数字の 1/2 として合計を算出している。

また、Glencore、Volcan は詳細が不明なため合計には含まれない。

3. ニッケル企業の動向

主要なニッケル生産企業7社とキューバ、中国を対象としている。Xstrata、Antamについては詳細なデータが無かった。1位 CVRD(リオドセ、2006年10月にIncoを買収)は、Sudbury 鉱山が減産だったものの、Voisey's Bay 鉱山の増産がそれを補い3.7%増、2位 NorilskはLionOreの取得により9.1%増、3位 BHP BillitonはYabulu 鉱山の増産等により14.3%増、5位 Erametはニューカレドニアでのストライキにより10.1%減、7位 Anglo Americanは5.8%減となった。

主要ニッケル生産者の生産実績

(単位：千t)

		2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2006年 合計	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	前年 同期比(%)	出典
1	CVRD	59	61	58	65	243	61	63	3.7	1
2	Norilsk Nickel	60	61	61	62	244	61	71	9.1	1
3	BHP Billiton	40	42	45	48	175	46	48	14.3	1
4	Xstrata	-	-	-	-	76	40		-	1
5	Eramet	34		14	13	60	15	15	-10.1	1
6	Antam	-	-	-	-	60	-	-	-	2
7	Anglo American	14		13		27	13		-5.8	1
	キューバ	20	20	20	20	78	20	20	1.5	3
	中国	16	18	18	16	69	16	17	-1.5	3
	7社+2国の計	219	224	215	231	1,031	245	260	13.9	

出典 1：各社ホームページ、2：Raw Material Data、3：国際ニッケル研究会

*「前年同期比」は累積比であり、各年の半期毎の比較となる。

*四半期毎の合計は数値が公表されているもののみ含まれている。

Ⅲ. 主要企業の2007年第2四半期動向レビュー

1. Corporación Nacional del Cobre, Chile (CODELCO)

- ・2007年第2四半期の営業利益は前年同期比3.6%減の29.1億US\$、純利益は前年同期比5.8%減の10.1億US\$となった。
- ・2007年第2四半期の銅生産量(El Abra 鉱山権益分の銅生産量含む)は、前年同期比11.1%減の423千tとなった。キャッシュコストは前年同期の33.1¢/lbから2.0¢/lb減少し31.1¢/lbとなった。

(1) トピックス

- ・2007年第2四半期の余剰金は前年同期比2.4%減の28.8億\$ (法人所得税: 13.4億\$, 銅機密法に基づく軍への拠出金: 4.1億\$, 鉱業特別税: 1.2億\$, 純利益: 10.1億\$) となった。
- ・2007年第2四半期の銅生産量は鉱石品位の低下と落盤事故、火災の発生により、前年同期比11.1%減の423千tとなった。その内訳はCODELCO Norteが225千t(前年比12.1%減)、Salvadorが16千t(同23.8%減)、Andinaが55千t(同9.8%減)、Tenienteが107千t(同3.6%減)、El Abraが20千t(同25.9%減)であった。
- ・6月25日にCODELCOの全事業所において、下請け従業員によるストライキが発生し、通常業務に戻るまでに約1か月を要した。このストライキによる損失は1億US\$を超え、約5,000tの銅生産減となった。
- ・5月10日、Andina事業所で落盤事故が発生し、従業員が死亡した。この事故による生産への影響は限定的であったが、CODELCOは事故原因の調査のため時間を費やした。

(2) 財務状況

(単位: 百万US\$)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
売上高*	**12,974			2,320	3,326
営業利益	3,021	2,619	2,193	1,726	2,914
当期損益	1,067	964	684	635	1,005

* El Abra 鉱山を除く

** 2006年第1~4四半期の合計

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(単位: 千t)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
銅	476	381	549	382	423

2) 主要保有鉱山の生産状況

(単位：千 t)

ディビジョン名	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
CODELCO Norte (100%)	256	165	330	192	225
Salvador (100%)	21	22	21	18	16
Andina (100%)	61	58	59	57	55
El Teniente (100%)	111	108	114	94	107
El Abra (49%)	27	28	25	21	20
直接コスト (¢/lb)	33.1	30.8	37.4	28.0	31.1

注1) 生産量は銅金属純分

注2) El Abra の生産量は CODELCO シェア分

2. BHP Billiton Limited

- ・銅生産量*¹ は、対前四半期比 4%減少、対前年同期比 17%増加となった。2006 年 8 月の Escondida 鉱山での労働争議にもかかわらず、Escondida 鉱山硫化銅浸出プロジェクトと Spence プロジェクト(共にチリ)の生産開始が記録的な年間生産量に貢献。両プロジェクトで 134,950t/年の生産量となったが、Olympic Dam 鉱山(南オーストラリア州)でのメンテナンスと銅処理量・品位低下により生産は減少した。
- ・銀生産量*² は、対前四半期比 5%増加、対前年同期比 23%増加となった。Cannington 鉱山(クィーンズランド州)の修復工事は 2007 年第 1 四半期に完了し、通常の生産レベルに戻った。Escondida 鉱山の銀生産は好調。
- ・鉛生産量*³ は、対前四半期比 1%減少、対前年同期比 12%増加となった。Cannington 鉱山の修復工事からの生産量回復が品位低下をカバーしている。
- ・亜鉛生産量*³ は、対前四半期比 9%増加、対前年同期比 42%増加となった。Antamina 鉱山(ペルー)の銅品位向上と生産量増加が生産量増加に貢献している。
- ・ウラン生産量*⁵ は、対前四半期比 12%増加、対前年同期比 14%増加となった。Olympic Dam 鉱山での品位変動と、メンテナンスなどが影響して年間生産量は 11%減少、契約販売量を確保するため第三者からの生産物を購入するなど、利益*⁶ は 1 百万 US\$の減少。
- ・ニッケル生産量*⁴ は、対前四半期比 4%増加、対前年同期比 15%増加となった。全てのプロジェクトで生産量は堅調。
- ・マンガン銅石生産量は、対前期比 5%増加、対前年同期比 9%増加となった。力強い需要により生産量増加。マンガン合金生産量は、対前期比 7%減少、対前年同期比では 7%増加となった。TEMCO(オーストラリア)のメンテナンスが影響して対前四半期生産量は減少したが、生産の最適化、設備能力の向上が効果をあげ年間生産量は増加した。

(非鉄金属のみ記載)

*1) 精銅中の金属純分量と地金をあわせた生産量

*2) 精銅中の金属純分量(Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

*3) 精銅中の金属純分量

*4) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分量(Nickel West)

*5) 精銅中のウラン酸化物量

*6) Earnings before interest and tax

出典) BHP Billiton 社ニュースリリース「BHP Billiton Production Report for the Quarter Ended 30 June 2007」, 2007 年 7 月 24 日

(1) トピックス

- ・天然ガス、アルミナ、アルミニウム、銅、ニッケル、鉄銅石、マンガン銅石、原料炭は旺盛な需要に応じて記録的な年間生産量を上げる。
- ・オーストラリア東海岸のインフラストラクチャ問題が石炭輸送に影響を及ぼしている。

出典) BHP Billiton 社ニュースリリース「BHP Billiton Production Report for the Quarter Ended 30 June 2007」, 2007 年 7 月 24 日

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2005年12月末 (6か月)	2006年6月末 (6か月) *1	2006年12月末 (6か月)	2007年6月末 (6か月) *2
売上高	18,080	21,019	22,113	25,360
営業利益	4,364	6,086	6,168	7,248
探鉱費*3	350	416	312	310

*1) 2005年7月～2006年6月の12か月分から2005年7月～2005年12月の6か月分を差引いた数値

*2) 2006年7月～2007年6月の12か月分から2006年7月～2006年12月の6か月分を差引いた数値

*3) 石油を含む

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 30 June 2007, 24 July 2007

BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2007, 22 August 2007

BHP Billiton Result for the Half Year ended 31 December 2006, 7 February 2007

BHP Billiton Annual Financial Statements for the Year ended 30 June 2006, 25 September 2006

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

鉱産物	2006 第2四半期	2006 第3四半期	2006 第4四半期	2007 第1四半期	2007 第2四半期
銅鉱石 (千 t) *1	207.2	158.7	194.7	202.3	196.9
銅地金 (千 t) *2	104.5	91.2	106.0	155.3	145.2
鉛鉱石 (t) *3	55,507	48,977	36,454	62,974	62,409
亜鉛鉱石 (t) *4	27,564	24,011	19,776	35,760	39,148
金 (oz) *5	56,161	41,160	38,564	43,904	52,443
銀 (千 oz) *5	9,593	7,349	6,566	11,025	11,625
ウラン (U ₃ O ₈ t) *6	865	793	822	883	988
ニッケル (千 t) *7	41.6	44.5	48.3	45.8	47.7
モリブデン鉱石 (t) *1	538	719	768	288	493
マンガン鉱石 (千 t)	1,389	1,509	1,529	1,452	1,519
マンガン合金 (千 t)	153	151	171	176	164
アルミナ (千 t)	1,072	1,078	1,153	1,085	1,144
アルミニウム (千 t)	344	337	338	331	334
鉄鉱石 (千 t) *6	26,115	25,003	25,454	23,026	25,941
原料炭 (千 t) *7	9,224	9,247	8,966	9,084	11,132
燃料炭 (千 t)	21,787	21,782	22,030	20,930	22,283
石油等 (百万 boe) *8	31.04	30.52	27.52	27.68	30.47

*1) 精鉱中の金属純分量

*2) カソード

*3) 精鉱中の金属純分量 (Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

*4) 精鉱中のウラン酸化物量

*5) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分 (Nickel West)

*6) Wet t

*7) 一部燃料炭を含む

*8) boe : 石油換算バレル

出典) BHP Billiton Production Report for the Quarter Ended 30 June 2007, 24 July 2007

2) 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

鉱山名、製錬所名	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
Escondida 鉱山 (銅 千 t) *1	165.2	129.7	160.6	178.1	170.5
Antamina 鉱山 (銅 千 t) *1	29.1	29.0	34.1	24.2	26.4
Tintaya 鉱山 (銅 千 t) *1 *2	12.9	-	-	-	-
Escondida (銅カソード 千 t)	11.7	17.5	32.7	38.2	37.7
Cerro Colorado (銅カソード 千 t)	30.0	30.0	27.4	28.1	20.3
Spence (銅カソード 千 t)	-	-	4	33.5	37.7
Tintaya (銅カソード 千 t) *2	6.1	-	-	-	-
Pinto Valley (銅カソード 千 t)	2.1	2.1	1.9	1.9	1.9
Olympic Dam 鉱山 (銅カソード 千 t)	54.6	41.6	39.7	53.6	47.6
Gannington 鉱山 (鉛 t) *1	55,507	48,977	36,454	62,974	62,409
Gannington 鉱山 (亜鉛 t) *1	14,926	10,426	8,806	15,095	11,355
Antamina 鉱山 (亜鉛 t) *1	12,638	13,585	10,970	20,665	27,793
Escondida 鉱山 (金 oz) *1	23,567	17,049	22,365	21,243	23,754
Tintaya 鉱山 (金 oz) *1 *2	4,958	-	-	-	-
Olympic Dam 鉱山 (金 oz) *3	27,636	24,111	16,199	22,661	28,689
Escondida 鉱山 (銀 千 oz) *1	925	724	880	920	990
Antamina 鉱山 (銀 千 oz) *1	808	713	736	749	934
Tintaya 鉱山 (銀 千 oz) *1 *2	119	-	-	-	-
Gannington 鉱山 (銀 千 oz) *1	7,503	5,714	4,805	9,160	9,426
Olympic Dam 鉱山 (銀 千 oz) *1 *4	238	198	145	196	275
Olympic Dam 鉱山 (U ₃ O ₈ t) *5	865	793	822	883	988
Antamina 鉱山 (Mo t) *1	538	719	768	288	493
CMSA (ニッケル 千 t) *6	12.8	12.7	12.8	12.8	12.7
Yabulu 鉱山 (ニッケル 千 t) *6	4.3	7.3	7.5	8.0	9.3
Nickel West (ニッケル 千 t) *6	24.5	24.5	28.0	25.0	25.7
Mt. Newman JV (鉄鉱石 千 t)	6,490	7,394	7,536	6,711	7,665
Gold worthy JV (鉄鉱石 千 t)	1,808	806	84	142	195
Area C JV (鉄鉱石 千 t)	5,401	4,821	5,334	4,853	5,078
Yandi JV (鉄鉱石 千 t)	8,854	8,504	9,106	8,277	9,661
Jimblebar (鉄鉱石 千 t)	1,607	1,490	1,449	1,177	1,341
Samarco (鉄鉱石 千 t)	1,955	1,988	1,945	1,866	2,001
オーストラリア国内 (マンガーン鉄石 千 t) *7	716	865	866	820	888
オーストラリア国内 (マンガーン合金 千 t) *7	44	60	66	64	49
BMA (原料炭 千 t)	6,474	6,657	6,106	6,478	7,442
BHP Mitsui Coal (原料炭 千 t) *8	850	873	873	1,067	2,047
Illawarra (原料炭 千 t)	1,900	1,717	1,987	1,539	1,643
オーストラリア国内 (燃料炭 千 t)	2,636	2,766	2,790	2,731	2,610
Worsely (アルミ 千 t)	694	704	776	708	768

*1) 精鉱中の金属純分量

*2) Tintaya 鉱山は 2006 年 6 月 1 日に売却

*3) 精錬金

*4) 精錬銀

*5) 精鉱中のウラン酸化物量

*6) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分量

*7) 100%ベース(BHP Billiton 社の権益は 60%)

*8) 100%ベース(BHP Billiton 社分の権益は 80%)

出典)BHP Billiton Production Report for the Quarter Ended 30 June 2007, 24 July 2007

(4) 開発(非鉄金属)

プロジェクト名 (権益、国)	鉱種	開発費 *1 (百万 US\$)	生産開始	生産能力 *2	進捗状況
Alumar 精錬所 (36%、ブラジル)	アルミナ	725	2009 年 第 2 四半期	アルミナ 200 万 t/年	・ 予算とスケジュールを見直す。 ・ 詳細エンジニアリングはまもなく完了の見込み。資機材調達、建設工事は順調に進捗。
Ravensthorpe (100%、WA 州)	ニッケル	2,200	2008 年 第 1 四半期	ニッケル精鉱 50,000t/年 (金属純分量)	・ スケジュールと費用を見直す。 ・ 建設工事はまもなく完了の見込み。 ・ 予備試運転・試運転は 40%以上完了、前半行程の湿式部分は紫雲円実施中。
Yabulu 精錬所 (100%、QLD 州)	ニッケル	556	2008 年 第 1 四半期	ニッケル地金 45,000t/年	・ スケジュールと費用を見直す。 ・ 工事は、完了、Ravensthorpe からの鉱石供給に先駆けて試運転開始。
Rapid Growth 3 (RGP3) (85%、WA 州)	鉄鉱石	1,300	2007 年 第 4 四半期	鉄鉱石 20 百万 t/年	・ スケジュール、費用とも計画通り進捗。 ・ エンジニアリングと調達は概ね完了。 ・ 建設の進捗率は 65%。 ・ 初期試運転を開始。 ・ 本プロジェクトは、Iron Ore Area C の開発とそれに伴う鉄道・港の能力拡大が目的。
Rapid Growth 4 (RGP4) (86.2%、WA 州)	鉄鉱石	1,850	2010 年 上半期	鉄鉱石 26 百万 t/年	・ スケジュール、費用とも計画通り進捗。 ・ エンジニアリングは、スケジュールより早い進捗。一部調達が早く進んだため。
Samarco 第 3 ペレット・プラント (50%、ブラジル)	鉄鉱石	590	2008 年 第 1 四半期	鉄鉱石 7.6 百万 t/年	・ スケジュール、費用とも計画通り進捗。 ・ プロジェクト全体の進捗率は 75%完了。

*1) 権益相当分

*2) 100%ベース

出典 BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 30 June 2007, 24 July 2007

(5) 探査

- ・ 直轄及びジュニア探査企業との提携により、探査を実施。2007 年 6 月末四半期の BHP Billiton 社の探鉱支出額(石油は除く)は 122 百万 US\$であった。Olympic Dam 鉱山の拡張のための探鉱費(資本化)は 86 百万 US\$。

- ・ 主な対象鉱種・対象国

銅 : オーストラリア、チリ、モンゴル、コンゴ民主共和国、ザンビア

ニッケル : オーストラリア、ロシア、アフリカ

鉄鉱石・石炭・ボーキサイト等 : オーストラリア、ブラジル、カナダ、西アフリカ

ダイヤモンド初期探鉱 : アンゴラ、カナダ、コンゴ民主共和国

出典) BHP Billiton 社ニュースリリース「BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 30 June 2007」, 2007 年 7 月 24 日

(6) その他

- ・ 特になし

3. Grupo Mexico

- ・ 2007年第2四半期の売上高、純益は各々前年同期比37.9%増の20.89億US\$、48.6%増の5.25億US\$を達成、好調な業績が続いている。

(1) トピックス

- ・ 2007年第2四半期の売上高は2,088,871千US\$(前年同期比37.9%増)、純益は524,773千US\$(同48.6%増)と引き続き好調。
- ・ 2007年第2四半期の総投資額は、前年同期比4.6%減の1300,060千US\$。主な投資先は、鉱山部門でのリーチング設備の拡張及び鉄道部門での新設備。
- ・ カナネア銅山において、カソード生産能力33千t/年の新規SX-EW設備建設についての基礎的技術調査、選鉱プラントの拡張についての技術的・経済的評価を実施中。
- ・ バハカリフォルニア州のエル・アルコ銅金プロジェクトの開発可能性を分析中。

(2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
売上高	1,514.7	1,647.6	1,883.2	1,575.4	2,088.9
営業利益	721.3	862.4	1,021.9	829.2	1,190.3
当期損益	353.0	392.7	447.3	437.9	524.8
負債総額	2,090.4	2,097.0	2,175.7	2,161.6	2,147.9
現預金	1,530.9	1,742.1	2,228.3	2,257.3	2,341.3
純負債	561.8	354.9	-52.6	-95.7	-193.3
全投資(含探鉱)	136.4	169.8	318.3	127.6	130.1

(3) 生産状況(主要鉱産物)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
銅(千t)	124.3	141.3	179.6	171.6	159.2
銀(千kg)	109.9	124.1	139.7	140.1	131.5
金(kg)	168	185	265	235	204
モリブデン(千t)	2.33	2.30	3.74	3.68	3.88
亜鉛(千t)	31.8	36.8	33.4	32.4	33.4
鉛(千t)	4.5	4.9	5.0	4.5	4.9

(4) その他

- ・ GM 社の製錬所は、MM 社 3、SCC 社 2 の計 5 か所。
- ・ 鉄道部門子会社 ITM 社の純益は、前期 27.0 百万 US\$、当期 34.2 百万 US\$と安定収益を確保。

(参考) GM 社の組織(())内は GM 社権益比率)

鉱業部門 AMC 社(100%) - SCC 社(75.1%) - MM 社(0.85%)

└ ASARCO 社(100%)【米破産法申請中(2007年3月31日現在)】

鉄道部門 ITM 社(75%) - GFM 社(100%) - FERROMEX 社(74%)

└ FERROSUR(100%)

(注) SCC(Southern Copper Co.)社は、SPCC(Southern Peru Copper Co.)から社名変更(2005/10/11)。ペルー、メキシコ、チリで活動中。MM 社の権益の 99.15%を保有。

4. Rio Tinto plc(四半期別の財務状況報告がないため、財務状況報告は最新の半期報告を掲載)

- ・2007年上半期の売上高は金属価格上昇により13,930百万US\$と前年同期比15%増と過去最高レベルとなったが、プロジェクト資産減損などにより、営業利益は4,662百万US\$で6%減、当期利益3,642百万US\$で14%減となった。
- ・2007年第2四半期の銅鉱石生産量は、鉱石の低品位化などにより、186.4千tと、前年同期比10%の減産。一方、銅地金生産量はリーチングプラント稼働率上昇により20%増。

(1) トピックス

- ・2007年第2四半期における銅鉱石生産量は、Kennecott Utah 鉱山の鉱石の低品位化などにより、186.4千tと、前年同期比10%の減産。
- ・銅地金生産量は2007年第2四半期100.7千tと、前年同期比20%の増産であったが、主に前年後半に稼働を開始したEscondidaリーチングプラント(チリ)の増産(前年同期比222%増)によるもの。
- ・ウラン(U_3O_8)生産量が前年同期比46%増の3,207千lb(約1,450t)。
- ・2007年上半期の売上高は金属価格上昇により13,930百万US\$と前年同期比15%増と過去最高レベルとなったが、Argyleプロジェクト(豪)の資本コスト増による評価減などにより、営業利益は4,662百万US\$で6%減、当期利益3,253百万US\$で14%減となった。
- ・7月12日、Alcan社買収オファーを発表。買収予定総額381億US\$。

(2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2006年上半期	2006年下半期	2007年上半期
売上高	12,111	13,329	13,930
営業利益	4,964	5,388	4,662
当期損益	3,796	3,642	3,253

(単位：百万US\$)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
探鉱費	56	62	108	72	122

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(単位：千t、金属純分)

鉱産物	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
銅鉱石	207.4	182.8	209.8	198.1	186.4
銅地金	83.9	75.6	54.0	101.6	100.7
モリブデン鉱石	3.5	4.7	4.2	4.7	3.8

※権益比率分のみ。最新四半期報告書において、2007年第1四半期以前のデータが改定された場合は、改定後による。

2) 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位：千 t、金属純分)

鉱山名、製錬所名	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
Bingham Canyon (銅鉱石)	68.7	68.9	66.4	54.1	55.6
Escondida (銅鉱石)	105.9	81.1	99.8	111.5	105.2
Grasberg (銅鉱石)	10.2	8.3	15.8	5.8	5.6
Northparks (銅鉱石)	16.5	16.8	17.8	13.7	9.8
Palabora (銅鉱石)	6.1	7.8	10.0	13.0	10.2
Kennecott Utah Copper (銅地金)	67.7	55.1	24.2	69.7	67.9
Escondida (銅地金)	6.1	9.1	17.1	19.9	19.7
Palabora (銅地金)	10.2	11.4	12.7	12.0	13.2

※権益比率分のみ。最新四半期報告書において、2007年第1四半期以前のデータが改定された場合は、改定後による。

5. Freeport-McMoRan Copper & Gold Inc. (FCX)

- ・FCX社の2007年第2四半期決算は銅、金、モリブデン相場がともに上昇し、フェルプスドッジ(Phelps Dodge)との合併効果を反映して大幅な増収増益決算を計上した。
- ・銅、金、モリブデン相場は2009年ごろまで好調に推移すると予想され、同社の売上也引き続き上昇していく見込みである。

(1) トピックス

- ・ 売上高
フェルプスドッジ買収で58億700万US\$となり、前年同期の14億2,600万US\$に比べほぼ4倍に増加、純利益も11億400万US\$で同3億6,700万US\$に比べ3倍に急増した。
- ・ 生産量
当期は9億7,100万lb(44万t)、金は82万5,000oz、モリブデンは1,800万lb(8,200t)、販売数量は、銅が10億1,000万lb(45万8,100t)、金が91万3,000oz、モリブデンが1,500万lb(6,800t)となった。2007年の販売目標は、銅が39億lb(176万9,000t)、金190万oz、モリブデンが7,000万lb(3万1,800t)となっている。
- ・ 販売量
銅が9億lb(40万8,200t)、金が12万5,000oz、モリブデンが1,600万lb(7,300t)と推定され、この結果、2007年の総生産は、銅が39億lb(176万9,000t)、金が210万oz、モリブデンが6,800万lb(3万800t)となる見込みである。
- ・ キャッシュフロー(資金流動性)
当期末は21億US\$となっており、今後の平均相場が銅3.25US\$/lb、金6.50US\$/oz、モリブデン25US\$/lbと推定すると、2007年末のキャッシュフローは60億US\$となる見込みである。
- ・ 資本支出
当期は5億3,000万US\$となっており、2007年の通年では18億US\$を計画している。
- ・ 借入金
6月30日現在は98億US\$で、保有現金は21億US\$となっている。地金価格が銅3.25US\$/lb、金650US\$/oz、モリブデン25US\$/lbで年末まで推移すると年末時点の借入金は82億US\$まで圧縮され、保有現金は17億US\$となる見込みである。
- ・ 北米、南米、インドネシア各事業の2007年第2四半期の業績は以下の通り。

1) 北米事業

- ①アリゾナ州のMorenci、Bagdad、Sierrita銅山、ニューメキシコ州のChino、Tyrone銅山、コロラド州Hendersonモリブデン鉱山で構成されている。前者5鉱山は露天掘り鉱山である。アリゾナ州ではSafford銅山の建設を進めている。コロラド州では休止中のClimaxモリブデン鉱山の生産再開に向けた調査を進めている。Morenci銅山だけは持分85%である。
- ②銅生産は3億3,500万lb(15万1,900t)、同販売は3億3,300万lb(15万1,000t)、モリブデン生産は1,800万lb(8,200t)、同販売は1,500万lb(6,800t)となった。この結果、売上高は26億7,900万US\$、営業利益は4億7,100万US\$を計上した。2007年下半期の銅販売は6億8,500万lb(31万700t)、通年で13億lb(58万9,700t)と予想している。

- ③モリブデンは Henderson 鉱山で純度の高い鉱石を生産しているほか、Morenci、Bagdad、Sierrita、Chino の各銅山でも副産物として生産している。また、1995 年から休止している Climax 露天掘り鉱山の生産再開のフィージビリティ・スタディを開始、2010 年から生産を再開する予定である。2007 年下半期のモリブデン販売は 3,400 万 lb(1 万 5,400t)が見込まれ、この結果、同年の同販売は 6,800 万 lb(3 万 800t)となる見込みである。
- ④2007 年のモリブデン生産量の 60%を長期契約で販売できる見込みで、来年は 75%を長契で販売する計画である。販売価格は四半期ベースの値決め交渉で決まるが、価格指標はメタルズウィーク誌の相場を採用することになっている。

2) 南米事業

- ①南米事業はチリの Candelaria、Ojos del Salado、El Abra とペルーの Cerro Verde の 4 銅山で構成される。Candelaria は露天掘り・坑内掘り鉱、Ojos del Salado は坑内掘り鉱で持分は 80%、El Abra は露天掘り鉱で持分 51%、Cerro Verde は露天掘り鉱で持分 53.6%となっている。
- ②Cerro Verde は 9 億 US\$投資して硫化鉱を処理できる新選鉱所が完成、銅精鉱生産を開始した。El Abra は小幅減産した。
- ③当期の生産は 3 億 3,800 万 lb(15 万 3,300t)、同販売は 3 億 4,300 万 lb(15 万 5,600t)、金生産・販売はともに 2 万 8,000oz だった。この結果、当期売上高は 7 億 2,900 万 US\$、営業利益は 7 億 9,300 万 US\$となった。この営業利益には旧フェルプスドッジが生産した銅地金の在庫や資産が含まれている。
- ④2007 年の銅販売は 7 億 7,500 万 lb の見込みである。

3) インドネシア事業

- ①パプア州の Grasberg 銅山が中核事業である。当期の生産は 2 億 9,800 万 lb(13 万 5,200t)、同販売は 3 億 3,400 万 lb(15 万 1,500t)、金は生産が 79 万 5,000oz、販売は 88 万 oz だった、鉱石品位の上昇で同生産は増加している。この結果、売上は 14 億 1,500 万 US\$、営業利益は 12 億 7,100 万 US\$を計上した。
- ②2007 年の銅生産は 11 億 lb(49 万 9,000t)、金は 200 万 oz の見込みである。2007 年下半期は Grasberg 銅山の鉱石品位が低下すると予想され、下半期の銅販売は 3 億 6,500 万 lb(16 万 5,600t)、金は 17 万 oz の見込みである。
- ③FCX 社は、最近、鉱山労働者と 2009 年 9 月までの 2 年間の労働協約を締結した。

4) 探鉱・開発状況

- ①Morenci 銅山－選鉱生産能力増強は第 3 四半期に完成する予定で、年産能力を 1 億 1,500 万 lb(5 万 2,200t)に増強した。また、精鉱リーチ電解採取工場建設で 2 億 5,000 万 US\$投資する予定である。
- ②Safford 銅山－2006 年 8 月に 5 億 8,000 万 US\$投資して建設に着工した露天掘り鉱山 2 か所が近く完成して生産を開始するほか、SX-EW 工場も 2008 年初めに完成する予定。フル操業を 2008 年上半期に中に開始し、年産 2 億 400 万 lb(10 万 8,900t)で操業する予定。

- ③Cerro Verde 銅山—9 億 US\$を投資した硫化鉱を処理する選鉱所が完成した。日産 10 万 8,000t の鉱石処理できる能力を持っている。今後、年産 6 億 5,000 万 lb(29 万 4,800t) (FCX 持分は 3 億 4,800 万 lb)を生産する予定。この増強に伴い、モリブデン生産も今後 5 年間で年産 800 万 lb(3,600t) (同 400 万 lb)に増加する。
- ④El Abra 銅山—大規模硫化物鉱床の開発により同鉱の可鉱期間が 9 年延長でき、硫化鉱の生産も 2010 年から開始される予定である。そのため 2008—2011 年に 3 億 5,000 万 US\$の資本投資を行なう。
- ⑤Grasberg 銅山—露天掘り鉱の地下にある大規模な坑内掘り鉱の開発を進めている。2007 年第 2 四半期には、DOZ 鉱山の拡張を完成させ鉱石生産を日産 5 万 t に増強、さらに 8 万 t に増強する予定である。また、Big Gossan 銅山の開発も進めており、2010 年から日産 7,000t の鉱石を生産する予定である。また、Grasberg 坑内掘り鉱、Kucing Liar 鉱床、DOZ 鉱山の今後の開発などでインフラ整備も継続して進める方針である。
- ⑥アフリカーコンゴ・カタンガ州にある Tenke Fungurume 銅コバルト鉱開発(持分 57.75%)で当期は電力供給などの投資を行なった。埋蔵量 1 億 300 万 t、銅品位 2.1%、コバルト品位 0.3%が見込まれている。生産開始は 2009 年はじめを予定。鉱山開発計画によれば、当初の 10 年間は高品位部(銅品位 4.6%、コバルト品位 0.4%)を対象に、銅、コバルトを年産、2 億 5,000lb(11 万 3,400t)、1,800 万 lb(8,200t)体制で操業する。投資総額は 6 億 5,000 万 US\$で FCX が 70%負担する。
- 2007 年は探鉱に 1 億 2,500 万 US\$を投資する計画である。北米では Safford 銅山の Lone Star 鉱床のボーリング調査、アフリカでは Tenke Fungurume 鉱山周辺の開発、Kisanfu プロジェクトにプレ F/S 調査を行う。インドネシアでは Deep Grasberg 鉱山、Kucing Liar 鉱山など周辺の開発を継続して実施する。また中断していた Grasberg 鉱山のブロック A、Kamopa 鉱山、Ular Merah 銅・金鉱山、Wabu 金鉱山の探鉱を再開する。

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期
売上高	1,426	1,636	1,642	2,302	5,807
営業利益	739	735	862	1,179	2,399
純利益	367	350	426	476	1,104
探鉱費	3	3	4	7	40

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況(鉱山生産分)

鉱山		2006年第2四半期			2007年第2四半期		
		粗鉱量 (t/日)	生産量 (百万lb)	品位 (%)	粗鉱量 (t/日)	生産量 (百万lb)	品位 (%)
Cu	北米						
	選鉱	190,700	101	0.34	227,300	116	0.34
	SX-EW	822,000	233	0.32	743,100	219	0.25
	南米						
	選鉱	62,300	107	0.95	168,000	196	0.72
	SX-EW	256,000	176	0.47	305,200	142	0.42
	インドネシア	223,700	237	0.72	215,000	298	0.82
	合計	1,554,700	854	—	1,658,600	971	—
Au	インドネシア	223,700	307	0.67	215,000	795	1.63
	北米	—	4	—	—	2	—
	南米	—	29	—	—	28	—
	合計	223,700	340	—	215,000	825	—
Mo	北米						
	Henderson 鉱山	23,300	10	0.24	25,400	10	0.22
	副産物		8	—	—	8	—
	合計	23,300	18	—	25,400	18	—

注) Au品位は g/t、Au生産量は千 oz

2) 主要鉱産物の生産・販売状況(2007年第2四半期)

	銅			金			モリブデン		
	生産量 (百万lb)	販売量 (百万lb)	販売実現 価格 US\$/lb	生産量 (千oz)	販売量 (千oz)	販売実現 価格 US\$/oz	生産量 (百万lb)	販売量 (百万lb)	販売実現 価格 US\$/lb
フリー ポート	298	334	3.43	795	880	657.91	—	—	—
北米	335	333	3.02	—	—	—	18	15	24.83
南米	338	343	3.54	28	28	673.92	—	—	—
合計	971	1,010	3.33	825	913	658.36	18	15	24.83

3) 部門別貢献状況

(単位：百万US\$)

	フリーポート	北米	南米	アトランティック・ カップ	PDIC	その他	合計
売上高	1,415	2,679	729	619	364	1	5,807
探鉱費	—	3	—	—	—	37	40
営業利益	1,271	471	793	—4	45	—177	2,399
資本支出	101	301	34	14	5	75	530

(PDICはフェルプスドッジの電線事業)

6. KGHM Polska Miedź S. A. (KGHM)

- 銅及び銀の生産量が前年同期比減少となったものの、2007年第2四半期の売上高は、銅・銀価格の上昇、銅販売量の増加等により前年同期比2%増の3,217百万 PLN。当期利益は、グループ企業からの株主配当金の減少等が影響し、前年同期比34%減の930百万 PLN。

(1) トピックス

- 2007年第2四半期の生産量は、電気銅が132,474t(外部からの調達原料19,245tを含む)、銀が286tであった。
- 売上高は、対US\$平均レート2.82PLN/US\$(前期3.14PLN/US\$)とPLN高となったものの、銅販売量が143,672tと増加(前年同期141,497t)、銅の平均LME価格が7,637US\$/t(前年同期7,251US\$/t)、銀の平均LBM価格が13.33US\$/troz(前年同期12.25US\$/troz)と高価格となったため、前年同期比2%増となった。
- 操業コスト(Operating Costs)は、1,877百万 PLNで、前年同期比5%減(100百万 PLN増)。主に、銅の外部からの調達原料の量及び費用が減少したことによるものである。
- 当期損益は、営業外損益でのグループ企業からの株主配当金の減少(前年同期において461百万 PLN計上、2007年は第1四半期に202百万 PLN計上)及び金融商品の決済損の影響等により、34%減の930百万 PLNとなった。

(2) 財務状況

(単位：千 PLN)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
売上高 Sales	3,141,945	3,339,176	2,767,657	2,643,492	3,216,585
営業利益 Operating Profit	1,641,325	1,256,802	810,145	1,100,876	1,166,401
当期損益 Net Profit	1,400,559	824,919	565,185	914,265	929,980
探鉱費	—	—	—	—	—

注) 2007年から、従来のポーランド会計基準からEU会計基準(IFRS)に変更となったため、各年の第1、第2四半期はIFRSにより、その他の四半期はポーランド基準による。

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(単位：t、金属純分)

鉱産物	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
銅地金 (t)	135,873	140,495	143,911	128,592	132,474
銀 (t)	310	286	317	322	286

注) 最新四半期報告書において、2007年第1四半期以前のデータが改定された場合は、改定後のデータによる。

※(参考)為替レート：1US\$=2.82PLN(KGHM社の2007年第1四半期平均レートによる)

7. Antofagasta Plc

- ・ 2007 年第 2 四半期のグループの銅生産量は前年同期比 5.2%増の 106,100t、モリブデンの生産量は前年同期比 33.3%増の 2.8 千 t となった。グループのキャッシュコストは、モリブデンクレジットの効果により、2007 年第 1 四半期の 35.8¢/lb から 11.0¢/lb 減少し 24.8¢/lb となった。

(1) トピックス

- ・ Los Pelambres 鉱山の 2007 年第 2 四半期の銅生産量は前年同期 5.7%増の 71,100t となった。増加の原因は、昨年実施した拡張工事の結果、鉱石処理量が増加したことと、回収率の向上による。
- ・ Los Pelambres 鉱山のキャッシュコストは、モリブデン価格の上昇によるモリブデンクレジット効果の増大により、2006 年第 1 四半期の 4.2¢/lb から大幅に低下し、マイナス 21.3¢/lb となった。
- ・ El Tesoro 鉱山の 2007 年第 2 四半期の銅生産量は前年同期比 6.4%増の 23,200t、Michilla 鉱山の銅生産量は前年比 1.7%増の 11,800t となった。

財務状況

(単位：百万 US\$)

	2005 年 上期	2005 年 下期	2006 年 上期	2006 年 下期	2007 年 上期
売上高 (Revenues)	1,123.6	1,321.7	1,846.9	2,023.1	1,942.1
税引前利益 (Profit before tax)	739.5	767.8	1,325.3	1,533.7	1,436.7
当期損益 (Profit)	607.5	620.7	1,070.3	1,123.8	1,105.0

主要鉱物の生産状況

(単位：千 t)

鉱産物	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期
銅鉱石	100.9	126.4	131.2	105.9	106.1
モリブデン鉱石	2.1	2.9	2.8	2.1	2.8
キャッシュコスト (¢/lb)	43.9	31.4	38.0	35.8	24.8

主要保有鉱山生産状況

(単位：千 t)

鉱山名	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期
Los Pelambres (60%)	67.5	88.8	93.8	70.7	71.1
El Tesoro (61%)	21.8	25.9	25.6	23.6	23.2
Michilla (74.2%)	11.6	11.7	11.9	11.6	11.8

注 1) 生産量は銅金属純分

注 2) 各鉱山の銅生産量全量を記載

8. Anglo American plc(四半期レポートを発行していないため、最新の半期報告を掲載)

- ・ベースメタル部門の営業利益は、銅の増産、価格高騰を背景として、2007年上半期は前年同期比19%増の5,452百万\$。銅、亜鉛、ニッケル生産量は、前年同期比でそれぞれ3%増、1%減、6%減。

(1) トピックス

- ・ 2007年上半期は、売上高が前年同期比5.4%増、営業利益が19%増、当期利益が15%増と増収増益。
- ・ グループの収益拡大とコア部門への集中化を図るべく、昨年から引き続き、グループ再編プログラムが進行。Mondi社(製紙)の分離、Highveld Steelの残りの株式29%のEvraz社への売却、Tongaat-HulletグループのBEE化を含む事業再編が完了。加えて、5月にTarmac社(建材)の売却も発表。
- ・ 新規開発案件として、Minas-Rio鉄鉱石プロジェクト49%(ブラジル)、Michiquillay銅プロジェクト(ペルー)、Pebble銅プロジェクト50%(アラスカ)などの権益を獲得。
- ・ 銅鉱石生産量は、計画的メンテナンスを実施したCollahuasi銅鉱山(チリ)を除き、各鉱山で増産となり、全体では前年同期比3%の増の308,300t。
- ・ ニッケル鉱石生産量は、Loma de Niqueidでの電気溶解炉停止などにより前年同期比6%減となる12,900t。
- ・ 亜鉛鉱石生産量は、主力のSkorpion鉱山(ナミビア)では、生産能力規模どおりの生産量となり、168.5千tとなった。

(2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期	2007年 上半期
売上高	17,327	18,825	19,812	19,845
営業利益	3,401	4,563	5,269	5,452
当期損益	1,683	2,943	3,243	3,379
探鉱費	83	66	66	66
金	23	16	0	0
ベースメタル	30	19	34	29
白金族	12	15	15	17

(3) 主要鉱産物の生産状況

(金属純分)

鉱産物	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期	2007年 上半期
銅鉱石 (t)	319,000	300,000	343,800	308,300
ニッケル鉱石 (t)	13,900	13,700	12,700	12,900
亜鉛鉱石 (t)	170,400	169,800	164,900	168,500
鉛鉱石 (t)	33,200	33,200	38,200	30,400
金 (oz)	3,028,000	2,115,000	1,202,200	1,112,200
白金 (oz)	1,210,600	1,368,800	1,495,100	1,217,400
パラジウム (oz)	645,000	743,400	819,600	676,100
ロジウム (oz)	157,800	150,000	181,700	163,700

注) 金生産量は AngloGold Ashanti 社分を計上(2006年4月20日までは100%、それ以降は権益分を計上)

(4) その他

- ・ 2007年上半期での収益比率は、ベースメタル部門が40%、鉄鉱石・合金鉄部門が13%、ダイヤモンド部門が5%、石炭部門が6%、白金族部門が28%、など。

9. Barrick Gold Corporation

- ・ 2007年第2四半期の売上は若干増えるも、純利益は減少へ。

(1) トピックス

- ・ 2007年第2四半期の金生産量は前年同期の2.09百万ozから若干減の1.96百万ozへ、キャッシュコストは280US\$/ozから345US\$/ozにアップ。また、純利益は、金の平均販売価格が603US\$から624US\$/\$に上がったにも係わらず、コスト増、先物取引の解消費計上により、459百万US\$から396百万US\$へと減少。一方、銅の生産量については、対前年同期の45千tに対して46千tとほぼ横這い。
- ・ タンザニアのBuzwagiプロジェクトは、5月に政府による環境許可が下りたことから建設を決断。2年の建設期間後、当初5か年はキャッシュコスト270~280US\$/ozで金250千~260千oz/年を生産する計画。
- ・ 2007年の見通しについて、金生産量8.1百万~8.4百万oz/年、キャッシュコスト335~350US\$/oz、銅生産量181千t、キャッシュコスト90US¢/lbを想定。

(2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
売上高	1,532	1,632	1,348	1,089	1,642
営業利益	715	717	629	132	625
当期損益	459	405	418	▲159	396
探鉱費	44	50	59	30	40

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)、原価償却費を差引した値。

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(金属純分)

鉱産物	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
金(千oz)	2,085	2,162	2,440	2,029	1,957
銅(千t)	45	43	45	45	46

2) 主要保有鉱山の生産状況

(金属純分)

鉱山名	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
*Porgera 鉱山 (Au; 千oz)	103	106	106	75	98
*Cortez 鉱山 (Au; 千oz)	41	81	92	68	92
Lagunas Norte 鉱山 (Au; 千oz)	257	325	291	287	285
*Zaldívar 鉱山 (Cu; 千t)	37	36	39	36	35

注) *印は旧PlacerDome社鉱山。Lagunas Norte 鉱山は元々Barrick社所有鉱山。

10. Newmont Mining Corporation

・ 2007年第2四半期決算、関連銀行の清算、金ヘッジの解消により、欠損額は20.6億\$に拡大

(1) トピックス

- ・ ノン・コア事業である証券引き受け銀行 Goodwill の清算処理、金ヘッジの解消により、前年同期の純利益 161 百万 US\$ から一転 20.62 億 US\$ に及ぶ欠損を出したと報告。
- ・ 11.5 億 US\$ の転換社債を発行し、Boddington 金鉱山(豪州、権益比率 66.67%)の開発、Yanacocha 金鉱山(ペルー、権益比率 51.35%)の金選鉱場、Nevada 鉱山(米国、権益比率 100%)の発電所建設に充当。

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
売上高	1,293	1,102	1,460	1,256	1,302
営業利益	522	358	532	452	347
当期損益	161	198	223	68	▲2,062
探鉱費	46	41	50	40	45

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)、原価償却費を差引した値。

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(金属純分)

鉱産物	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
金(千 oz)	1,384	1,196	1,716	1,342	1,248
銅(千 t)	28	24	36	23	24

注) 権益分のみ計上。金については、販売量を計上。

2) 主要保有鉱山の生産状況

(金属純分)

鉱山名	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
Nevada (権益 100% Au:千 oz)	491	557	570	562	530
Yanacocha (権益 51.35% Au:千 oz)	385	311	234	215	155
Batu Hijau (権益 45% Cu:千 t)	28	24	36	23	24

注) 権益分のみ計上

11. Teck Cominco Limited

- ・ 2007年第2四半期の純利益、銅販売量の低下等により減少するも、銅資源確保に向け次々に布石

(1) トピックス

- ・ 主力鉱山である Highland Valley 鉱山(カナダ・BC州)の品位低下、Antamina 鉱山(ペルー)からの出荷タイミングの遅れ、石炭価格の下落等により、2007年第2四半期の純利益は前年同期の613百万\$から485百万\$に減少。売上高については、1,561百万\$で前年同期の1,546百万\$とほぼ同じ水準。
- ・ Red Dog 鉛・亜鉛鉱山(米国・アラスカ州)からの今年度の鉱石出荷は、前年より19日早い7月5日に開始されており、2007年は亜鉛精鉱1.0百万t、鉛精鉱260千tの出荷を見込む。
- ・ 住友金属鉱山(株)とのジョイントベンチャー事業である Pogo 金鉱山(米国・アラスカ州)、並びに、Xstrata とのジョイントベンチャー事業である Lennard Shelf 亜鉛鉱山(豪州・西オーストラリア州)が2007年第2四半期より商業生産を開始。
- ・ 銅事業の強化に向け、5月にはカナダの NovaGold 社との間で、BC州北西部の Galore Creek の共同開発契約を締結。Galore Creek では、操業開始の当初5か年間には、年産195千tの銅、340千ozの金、4百万ozの銀を生産する予定。6月には、カナダの Aur Resources 社を41億\$で友好的に買収し、年産91千tの銅を獲得。更に、パナマの Petaquilla 銅プロジェクトの開発コスト52%を負担することにより26%の権益を取得。

(2) 財務状況

(単位：百万C\$)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
売上高	1,546	1,632	2,088	1,340	1,561
営業利益	894	876	1,167	620	764
当期損益	613	504	866	360	485
探鉱費	14	22	28	20	25

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)、原価償却費を差引した値。

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物の生産状況

(石炭以外は金属純分)

鉱産物	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
銅鉱石(千t)	62	63	70	53	53
亜鉛鉱石(千t)	154	174	148	167	176
亜鉛地金(千t)	73	72	77	75	74
鉛地金(千t)	21	23	22	22	20
モリブデン(千lb)	1,808	2,034	1,976	1,322	1,549
石炭(千t)	2,190	2,006	2,167	2,046	2,496

注) 権益分のみ計上

2) 主要保有鉱山の生産状況

(石炭以外は金属純分)

鉱山名	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
Red Dog 鉱山 (権益 100% Zn; 千 t)	133	155	134	145	142
” (権益 100% Pb; 千 t)	28	33	33	33	31
Highland Valley 鉱山 (権益 97.5% Cu; 千 t)	42	43	46	36	35
” (権益 97.5% Mo; 千 lb)	1,017	977	847	898	824
Antamita 鉱山 (権益 22.5% Cu; 千 t)	20	20	24	17	18
” (権益 22.5% Zn; 千 t)	10	10	9	16	22
” (権益 22.5% Mo; 千 lb)	791	1,057	1,129	424	725
Elk Valley 石炭鉱山 (権益 40%、千 t)	2,190	2,006	2,167	2,046	2,496

注) 権益分のみ計上

12. Peñoles

- ・ 2007 年第 2 四半期の売上高は 1,125.8 百万 US\$ (前年同期比 23.3%増) となり、創業以来の記録を更新。同じく、総利益及び EBITDA も創業以来の記録を更新。
- ・ 同四半期の銀地金の生産量も 28,317 千 oz (880.8t) に達し、創業以来の記録を更新。

(1) トピックス

- ・ 2007 年第 2 四半期の売上高は 1,125.8 百万 US\$、純益は 110.0 百万 US\$ と高水準を維持。
- ・ カナダの Mag Silver 社との共同探鉱により、Juanicipio プロジェクトで 200 百万 oz の銀資源を確認。

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期
売上高	912.8	859.3	903.7	1,025.8	1,125.8
営業利益	170.2	144.1	142.9	167.3	171.6
当期損益	86.3	94.1	86.9	90.4	110.0

(注) Peñoles 社クォーターリーレポートには「営業利益」と「当期損益」のドル建ての記載がない。上表では同レポート記載のペソ建ての金額と四半期毎の平均レートを用い US\$ に換算した (平均レートは、06 年第 2 四半期 11.1626 ペソ/US\$、第 3 四半期 10.9637 ペソ/US\$、第 4 四半期 10.8874 ペソ/US\$、07 年第 1 四半期 11.0121 ペソ/US\$、第 2 四半期 10.5839 である)。

(3) 生産状況 (主要鉱産物)

(金属純分)

	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期
金鉱石 (kg)	2,976	3,084	2,822	3,213	3,031
金地金 (kg)	13,311	12,877	11,668	12,921	13,528
銀鉱石 (t)	394.0	365.4	324.9	343.2	377.0
銀地金 (t)	790.4	764.3	778.5	836.5	880.8
鉛鉱石 (t)	16,706	15,120	13,665	12,764	16,774
鉛地金 (t)	36,915	34,521	31,487	34,105	35,583
亜鉛鉱石 (t)	54,123	47,730	50,688	49,657	47,589
亜鉛地金 (t)	61,534	64,246	56,515	53,428	60,396
銅鉱石 (t)	2,890	4,379	3,205	3,368	4,430
銅地金 (t)	2,208	2,010	2,427	1,962	1,890
ビスマス (t)	324	304	312	312	282

(4) 輸出状況(主要鉱産物)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
銀地金 (t)	704.5	697.1	684.6	746.1	776.9
鉛地金 (t)	5,743	1,052	1,374	4,799	4,122
亜鉛地金 (t)	33,833	37,513	39,131	33,346	39,835
銅地金 (t)	2,230	1,541	1,606	1,176	1,927
ビスマス (t)	344	221	322	311	278

(5) その他

ペニョーレス社の主要鉱山は、フレズネージョ(金・銀・鉛・亜鉛)、ラ・エラドゥーラ(金・銀)、ラ・シエネガ(金・銀・鉛・亜鉛)、フランシスコ・I・マデーロ(亜鉛・鉛)、チサパ(金・銀・鉛・亜鉛・銅)、ビスマルク(亜鉛)、ナイカ(銀・鉛・亜鉛・銅)、サビナス(銀・鉛・亜鉛・銅)、ミルピージャス(銅：2006年生産開始)である。

13. Aneka Tambang (Antam)

- ・ 2007年第2四半期の売上高は、前年同期の約3倍となる4兆4,764億7,100万IDRを計上。増収増益の主因は、金、銀、フェロニッケル、ニッケル鉱石の販売実現価格の上昇と、フェロニッケル、ニッケル鉱石の販売量の増加による。6月、FeNiⅢ製錬工場において溶鉱炉から熔融金属が流出する事故が発生。7月、株式の市場流動性を向上させるための株式分割(1:5)を実施。

(1) トピックス

・ 金・銀の生産量

Ponkor 鉱山におけるクラッシャーの補修工事のため、金は前年同期比 15.3%減の 690kg、銀は同 13.2%減の 6,099kg となった。当期の Pongkor 鉱山の鉱石生産量は 95,167wmt。金・銀の販売量は、それぞれ前年同期比 50.5%減、81.6%減の 379kg、798kg となった。販売量の減少は金、銀ともに相場の高騰を見越しての売り控えである。販売実現価格は、金が前年同期比 9.8%高の 671.51US\$/oz、銀が同 6.5%高の 13.29US\$/oz となった。この結果、売上高は、金が前年同期比 39.5%増の 1,931 億 7,600 万 IDR、銀が 43.0%増の 225 億 4,800 万 IDR となった。

・ フェロニッケル生産量

FeNiⅢ製錬工場の運転再開により、前年同期比 5.8%増の 4,394t となった。フェロニッケルの販売量は前年同期比 16.8%増の 5,552t。売上高はフェロニッケルの販売実現価格(8.01→21.81US\$/lb)の上昇と販売量の増加を受けて前年同期比 211.5%増の 2兆3,981億5,300万IDRとなった。

なお、FeNiⅢ製錬工場は6月16日に発生した熔融金属の流出事故により操業を停止しており、現在、関係者によって事故の原因究明と補修工事(冷却施設と耐火煉瓦の交換)が進められている。生産再開は10月末と見られている。同社は2007年のフェロニッケル生産量目標を当初の20,000tから16,000tに下方修正を行っている。

・ サプロライト鉱石生産量

前年同期倍増の1,923,249wmt。増産の要因は、顧客の引き合いに応えた Pomalaa、Buli 鉱山での増産による。この結果、Pomalla、Buli 鉱山の通年の生産量は、160万wmtと230万wmtが見込まれている。なお、Mornopo 鉱山は前年同期比 12.9%増の 253,494wmt を生産した。サプロライトの販売量は、前年同期比 27.6%増の 1,289,682wmt。サプロライトの売上高は販売実現価格(50.81→110.79US\$/wmt)の上昇と販売量の増加により、前年同期比 155.9%増の 1兆2,841億1,000万IDRとなった。当期のサプロライト鉱石は、Pomalaa、Gee、Buli、Mornopo から出鉱された。

・ 低品位鉱生産量

Gebe、Pomalaa の両鉱山に貯鉱されているリモナイト鉱 708,359wmt が出荷、販売された。リモナイトの売上高は販売量の増加と販売実現価格の上昇(20.86→84.46US\$/wmt)を反映して、前年同期の約8倍となる5,362億5,600万IDRとなった。なお、Gebe 鉱山は2004年末に生産を中止している。

(参考：為替レート 9,020IDR/US\$ (2006年の仲値：インドネシア銀行))

(2) 財務状況

(単位：百万 IDR)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
売上	1,541,221	1,295,844	2,170,400	2,385,819	4,476,471
輸出	1,445,789	1,138,577	2,077,465	2,315,161	4,387,845
フェロニッケル	769,800	715,554	1,048,899	1,063,204	2,398,153
ニッケル鉱石					
サブロライト	501,710	299,861	671,858	868,148	1,284,110
リモナイト	68,586	42,388	115,734	233,742	536,256
金	58,932	16,834	171,711	91,353	125,047
銀	3,721	17,051	7,909	11,786	11,133
国内	95,432	157,267	92,935	70,657	88,626

(単位は百万インドネシア・IDR)

US\$ベース輸出高

(単位：百万 US\$)

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
売上	157.8	125.2	228.0	254.0	488.7
フェロニッケル	83.9	78.7	115.3	116.5	266.9
ニッケル鉱石					
サブロライト	54.7	33.0	73.6	95.3	142.9
リモナイト	7.6	4.6	12.7	25.7	60.0
金	6.4	1.9	18.8	10.0	14.0
銀	0.4	1.9	0.9	1.3	1.3

(3) 生産状況

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
フェロニッケル (t)	4,153	3,064	4,551	4,352	4,394
ニッケル鉱石					
サブロライト (wmt)	961,241	828,894	1,032,056	1,735,424	1,923,249
リモナイト (wmt)	154,863	239,252	243,774	0	0
金 (kg)	815	874	719	770	690
銀 (kg)	7,028	7,067	6,178	6,199	6,099

(4) 販売実績

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
フェロニッケル (t)	4,753	3,387	3,673	3,345	5,552
ニッケル鉱石					
サブロライト (wmt)	1,011,076	640,737	1,161,842	1,197,009	1,289,682
リモナイト (wmt)	206,882	128,882	446,875	731,459	708,359
金 (kg)	766	859	1,303	746	379
銀 (kg)	4,343	5,772	5,055	5,202	798

(5) 販売実現価格

	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
フェロニッケル(lb 当たり US\$)	8.01	10.54	14.24	15.8	21.81
ニッケル鉱石					
サブロライト(Wett 当たり US\$)	50.81	57.25	60.92	79.63	110.79
リモナイト (Wett 当たり US\$)	20.86	35.97	36.54	35.33	84.46
金 (oz 当たり US\$)	611.82	621.23	624.33	655.52	671.51
銀 (oz 当たり US\$)	12.48	17.84	12.69	13.37	13.29

(6) 探鉱

- ・ 当期の探鉱費は、ニッケル、金、ボーキサイトを対象に前期比 77.2%増の 342 億 IDR(うちニッケル探鉱分は 250 億 IDR)を支出した。
- ・ ニッケル・金・ボーキサイトの探鉱を次の地域で実施している。

<ニッケル探鉱区>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額(百万 IDR)
ハルマヘラ	Obi	地質調査、ボーリング調査	6,800
ハルマヘラ	Buli, Tanjung Buli	ボーリング調査	14,300
南東スラウェシ	Tapunopaka	地質調査、ボーリング調査	643
南東スラウェシ	Baunaga-Konawe	広域地質調査	173
中央スラウェシ	Bungku-Morowali	広域地質調査、テストピット	1,500
中央スラウェシ	Bulutaloe & Tangofa	地質調査、ボーリング調査	1,200

<金探鉱区>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額(百万 IDR)
西ジャワ	Pongkor	ボーリング調査	2,700
西ジャワ	Papandayan	地質調査	955
西ジャワ	Tikukur		11
東ジャワ	Liman Mountain	地質調査	182
ベンクル	Seblat	地質調査	886
ジャンビ	Muaramanderas	地質調査	1,700
南スラウェシ	Konawe	地質調査	112
西スラウェシ	Mao Mamuju	地質調査	260

<ボーキサイト探鉱区>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額(百万 IDR)
西カリマンタン	Tayan	グリットテストピット	1,100
西カリマンタン	Munggu Pasir	グリットテストピット	822
西カリマンタン	Mempawah	グリットテストピット	402

(7) 開発事業

- ①FeNi Ⅲ製錬所の金属流出事故の原因究明及び補修工事を実施。
- ②Antam は 6 月 5 日、豪州証券取引所の定める規程に従い実施した埋蔵量評価においてサブロライト鉱の鉱石埋蔵量・資源量(ore reserves and resources estimation)が 61%増加し 1 億 6,000 万 wmt となったと発表した。
- ③5 月 30 日の株主総会にて株式分割(分割比 1:5)決議が了承され、7 月 12 日よりジャカルタ、スラバヤの証券市場で取引が開始されている。
- ④鉱業投資家とのコミュニケーションを促進するため、UBS Indonesia 大会(5 月 2-3 日)、BNP Pribas Indonesia Corporate Day 会合(1 月 16 日)、CLSA Corporate Access Days 会合(5 月 21-24 日 : Singapore)に参加した。

(8) 合併事業

JV	鉱種	Antam (%)	パートナー	開発ステージ
PT Nusa Halmahera Minerals	金	17.5	Newcrest	生産/開発
PT Cibaliung Sumber Daya	金	10.25	Austindo	開発
Pt Sorikmas Mining	金	25	Oropa	開発
PT Gag Nickel	ニッケル	25	BHP Billiton	開発
PT Weda Bay Nickel	ニッケル	10	Eramet (Weda Bay Minerals)	開発
PT Dairi Prima Minerals	鉛亜鉛	20	Herald Resources	開発

14. CVRD(リオドセ) : Companhia Vale do Rio Doce *USGAAPに基づく統計

・ 2007年第2四半期は鉄鉱石、ボーキサイト、コバルトの生産量が過去最高となり、売上高は前年同期比45.2%増の89億US\$で、これまでの記録となった2007年第1四半期の売上高77億US\$より15.9%増となった。豪州AMCI Holdings社買収による石炭の生産、ブラジルParagominas鉱山でのボーキサイトの生産を開始した。

- ・ 売上高は前年同期比45.2%増の88.99億US\$を記録した。営業利益は前年同期比77.4%増の43.79億US\$、純利益は前年同期比97.1%増の40.95億US\$に達した。
- ・ 売上高を部門別に見ると、鉄鋼37.34億US\$(42.0%)、非鉄39.33億US\$(44.2%)、アルミニウム7.24億US\$(8.1%)、石炭0.42億US\$(0.5%)、鉄道・港湾・輸送4.14億US\$(4.7%)、その他0.52億US\$(0.6%)となる。
- ・ 非鉄部門(ニッケル、銅、カオリン、カリウム、白金族金属、貴金属、コバルト)の売上は、前年同期比91.3%増の39.33億US\$で、内訳はニッケル31.96億US\$、銅5.04億US\$、白金族金属0.87億US\$、貴金属0.20億US\$、コバルト0.32億US\$であった。
- ・ ニッケル生産量は、前年同期比2.8%増の62,500tであった。
- ・ 銅生産量は前年同期比4.8%増の68,100tであった。ブラジルSossego鉱山の生産は前年同期比2.7%減の29,200tであった。カナダのニッケル鉱床からの副産物として生産される銅は前年同期比11.1%増の38,900tであった。
- ・ 鉄鉱石生産量は、前年同期65百万tに対し11.0%増の73百万千tで過去最高記録を達成した。
- ・ マンガン鉱石生産量は、前年同期比38.6%増の706千tであった。

15. Xstrata plc

- ・ 2006 年の Falconbridge 社含む 3 件の大型買収の 2007 年上半期の EBIT への寄与は 31 億 US\$。
- ・ 金属、エネルギーを合わせて 15 のプロジェクト (280 億 US\$ の投資) が進行中。
- ・ 2006 年の営業利益 (EBIT) が、前年同期比 112% 増の 83 億 US\$

(1) トピックス

- ・ 2006 年に 3 件の大型買収を実施 (Tintaya 銅鉱山 (ペルー)、Gerrejon 石炭鉱山 (コロンビア)、Falconbridge 社)。合計買収費用は 196 億 US\$。これらは、2007 年上半期 EBIT に 31 億 US\$ の寄与。
- ・ 税引き後純利益は、対前年同期比 47% 増の 30 億 US\$。
- ・ Collahuasi 銅鉱山のレビューの結果、今後、2 段階の投資により、銅精鋼の生産を 1 百万 t/年まで増強可能であることを確認。
- ・ Mt. Isa (豪) における埋蔵鉱石量約 7 百万 t 追加確認。
- ・ 中国、インドの需要増に対し、供給は引き続きタイトな状況が続くとの基本的見通し。

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

区分	2005 年	2006 年	2007 年上半期
売上高	17,199	26,877	14,232
営業利益 (EBIT)	3,932	8,340	4,671
当期損益 (Attributable Profit)	2,232	4,885	3,002
資本支出 (探鉱費含む)	1,748	1,955	986
銅部門	424	514	264
ニッケル部門	367	372	219
亜鉛部門	141	272	168
その他	816	797	335

(注) 2005 年、2006 年における全てのデータは、2006 年中の買収案件 (Falconbridge 社他 2 件) を通年分に換算した、Xstrata 社発表による想定 (Pro Forma) ベースによるものを記載。

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物生産状況

鉱産物	2005年	2006年	2007年上半期
Xstrata Copper			
銅鉱石 (精鉱 t)	1,023,439	1,011,295	449,136
金 (oz)	777,076	786,813	321,200
Xstrata Nickel			
ニッケル鉱石 (精鉱 t)	53,124	46,526	24,886
フェロニッケル鉱石 (精鉱 t)	28,668	29,675	14,749
銅鉱石 (精鉱 t)	13,895	11,949	5,713
コバルト (t)	983	989	467
Xstrata Zinc			
亜鉛鉱石 (精鉱 t)	712,795	669,981	377,044
亜鉛地金 (t)	830,718	864,915	414,488
鉛鉱石 (精鉱 t)	269,393	227,831	110,870
鉛地金 (t)	237,466	230,583	66,533
Xstrata Alloys			
クロム (千 t)	1,122	959	598
五酸化バナジウム (千 lb)	20,166	21,651	9,249
フェロバナジウム (千 kg)	4,936	4,907	2,055

注) 記載は金属純分で、他社権益分を含む。

2) 主要保有鉱山・製錬所の生産状況

鉱山名・製錬所名 (権益比率、記載無きは100%)	2005年	2006年	2007年上半期
銅 (t)			
* Alumbreira (アルゼンチン) 精鉱 (50%)	187,317	180,144	83,447
Mount Isa (豪) 精鉱	177,482	194,135	78,452
Collahuasi (チリ) 精鉱 (44%)	161,192	167,289	70,647
Antamina (ペルー) 精鉱 (33.75%)	126,438	129,675	52,455
Townsville (豪) 地金	219,198	209,188	116,402
CCR (カナダ) 地金	304,184	368,319	164,400
亜鉛 (t)			
Mount Isa (豪) 精鉱	231,167	209,914	115,248
McArthur River (豪) 精鉱	153,644	135,538	70,549
Brunswick (カナダ) 精鉱	265,768	271,838	127,657
San Juan de Nieva (スペイン) 地金	501,413	502,834	247,690
Kidd Creek (カナダ) 地金	113,711	144,066	63,329
鉛 (t)			
Mount Isa (豪) 精鉱	159,557	118,311	56,669
Brunswick (カナダ) 精鉱	75,353	79,431	35,636
Brunswick (カナダ) 地金	76,116	67,846	41,824
Northfleet (英) 地金	161,350	162,737	57,709
ニッケル (t)			
Sudbury (カナダ) 精鉱	25,203	20,932	10,794
Raglan (カナダ) 精鉱	22,917	23,704	14,619
Falcondo (ドミニカ) FeNi 精鉱 (85.3%)	28,668	29,675	14,749
Nikkelverk (ノルウェー) 地金	84,886	81,974	42,871

注) 記載は金属純分で、*を除き、自社権益分を記載

16. Kazakhmys

- ・ 2007 年上半期銅カソード生産量は前年同期比 1.8%増の 191.2 千 t。
- ・ 2007 年上半期亜鉛精鉱生産は前年同期比微増の 71.2 千 t。
- ・ 2007 年上半期売上高は前年同期比 22%増の 2,789.3 百万 US\$

(1) トピックス

- ・ 2007 年上半期銅精鉱生産量は前年同期比微減の 201.5 千 t(銅純分)、銅カソード生産量は前年同期比 1.8%増の 191.2 千 t(うち、自社鉱石分は 3.2%減)、精鉱生産の減少は、Kounrad 鉱山の生産の遅れと Zhezkazgan Complex の生産減少によるもの。電気銅の生産量は鉱石の平均品位向上により補完されており、これは新たな鉱山(Artemyevskoe、Zhomart、Kosmurun)からの生産によるもの。
- ・ 2007 年上半期の亜鉛精鉱生産は、前年同期比微増の 71.2 千 t。Artemyevskoe 鉱山の生産が、2006 年第 2 四半期に発生した Orlovskoe 鉱山の生産障害を補完している。亜鉛地金の生産量は、前年同期比 18.9%減少。これは、亜鉛価格高騰を背景に、精鉱での販売を優先させたことによる。Kosmurun 鉱山からの亜鉛鉱石生産が、2007 年 1 月から開始され、鉱石は現在貯鉱されており下半期から選鉱プロセスに送られる予定。

(2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

区分	2005 年 上半期	2005 年 下半期	2006 年 上半期	2006 年 下半期	2007 年 上半期
売上高	1,202.1	1,395.4	2,279.8	2,766.7	2,789.3
税引前利益 (EBITDA)	482.8	590.7	1,081.3	1,227.1	1,323.7
当期損益	232.1	318.7	619.3	793.8	799.6
資本支出 (探鉱費含む)	155.0	210.4	171.6	182.1	684.1

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物生産状況

鉱産物	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期
銅精鉱 (千 t)	107.6	111.4	119.5	104.7	96.8
銅カソード (千 t)	98.8	107.3	111.8	99.7	91.5
銅ロッド (千 t)	9.0	8.1	6.1	9.0	9.0
亜鉛精鉱 (千 t)	31.3	36.6	22.0	38.6	32.6
亜鉛地金 (千 t)	15.6	12.1	13.6	14.9	12.5
金 (千 oz)	30.4	25.6	27.7	19.2	32.2
銀 (千 oz)	5,433	5,295	5,576	5,017	5,087

注) 生産量は金属純分。金及び銀は自社鉱石分を記載

注) 2007 年第 2 四半期生産量は、2007 年上半期及び第 1 四半期データより計算。

17. Glencore International AG

・今期の主なトピックスとしては、エジプトでの銅製精錬所建設のJV事業計画、ボスニアのアルミ精錬企業買収の計画、コンゴの銅・コバルトプロジェクト所有企業獲得に向けた動き、ザンビア Mopani 鉱山会社に関する操業再開および買鉱契約締結、ボリビア政府との錫鉱山を巡る争議などがある。

(1) M&A、業務提携

①ボスニア・アルミ精錬企業 Aluminij Mostar 買収に向けた動き

- ・ボスニア・アルミ精錬企業 Aluminij Mostar の権益 88%取得に Glencore の他、Vedanta Resources plc、ギリシャの鉱工業企業 Mytilineos、英国の En+group Ltd. が名乗り上げており、Aluminij Mostar の資産評価をしている。この買収の取引額は 104~270 百万 US\$となる見込み。なお、Aluminij Mostar は 2006 年 10 月に生産能力拡張のための新設備を Glencore から 10 百万 US\$で購入している (2007 年 5 月)。

②エジプト・ケーブルメーカーと合併で、銅製精錬所の建設を計画

- ・エジプトのケーブルメーカー El Sewedy Cables 社 (ESC 社) と合併で、エジプト Ain Sokhna 港付近に Red Sea Copper 銅製精錬所を建設する予定。現在、FS 段階であり、2008 年中には建設開始予定。生産規模は年産銅地金約 30 万 t。投資額は 850 百万 US\$で、Glencore は権益 26% (残りは ESC 社) を保有し、1 百万 t の銅精鉱を供給する予定。このプロジェクトに対し中国大手銀行 HSBC へ 850 百万 US\$の融資を依頼、El Sewedy Cables 社と Glencore の権益費率は 7 : 3 である (2007 年 6 月)。

③コンゴ民主共和国 (DRC) の銅・コバルトプロジェクトの権益を所有する Nikanor 社の獲得への動き。

- ・5 月に英国 Nikanor 社の株式 16.7 億 US\$分を買い取り、100%の長期買鉱契約を締結。同社はコンゴの KOV 銅・コバルトプロジェクトの権益を 75%を所有 (残り 25%は国有企業 Gecamines が保有)。本プロジェクトは、精鉱の売り上げが低かったため 2007 年上半期に 20 百万 US\$の損失が発生していた。さらに 6 月には特殊資本推進会社 Ruwenzori Ltd. とともに新たに 7.8 億 US\$分の株式を購入している。Nikanor 社はこの契約で総額 10 億 US\$を得て、総額 18 億 US\$の開発費に充てる (2007 年 6 月)。

④カザフスタン Voskhod 鉱山のクロム鉱の販売契約締結へ

- ・英国 Oriel Resource 社と Voskhod 鉱山のクロム鉱の長期買鉱契約を締結。同鉱山は 2008 年の第 3 四半期に生産開始予定であり、クロム鉱年産 90 万 t の見込み。本プロジェクトに関して、Eurasian Development Bank 他 2 社から 120 百万 US\$の融資を受ける予定 (2007 年 7 月)。

(2) 探査開発

①メキシコ・Luz del Cobre 銅プロジェクトの拡張

- ・カナダ Zaruma Resources 社のメキシコ・ソノラ州 Luz del Cobre 銅プロジェクトへ 22 百万 US\$を融資しているが、さらに同プロジェクト西方 1km に位置する Trion 地域を含む San Antonio 鉱区の銅探査プロジェクトにも参加する予定。この融資により Glencore はこれら 2 つ

のプロジェクトから生産された金属の販売権を得る。プロジェクトの総資本コストは 25 百万 US\$であり、ザルマ社は、残り 3 百万 US\$の開発資金を自社で調達する予定である(2007 年 6 月)。

②南オーストラリア Kalkaroo 銅開発プロジェクトへの参加

- ・ 南オーストラリア Kalkaroo 銅開発プロジェクトの FS につき Havilah Resources NL への 14 百万 A\$の融資を合意。これにより、権益 14%を獲得。現在、長期買鉱契約につき調整中(2007 年 7 月)。

③ザンビア Cheowa 銅金プロジェクトの試掘結果発表

- ・ Zambesi Resources Ltd が 84%の権益を持つザンビア Cheowa 銅金プロジェクトの試掘結果を発表、資源量 170 万 t、平均品位銅 1.5%、金 0.5g/t、さらに試掘を重ね、鉱量を拡大させる計画。Glencore は残り 16%を保有しているが 10 百万 US\$を投入し権益を 51%まであげる予定(2007 年 8 月)。

④コロンビアで銅・モリブデン鉱区を取得

- ・ コロンビア鉱山地質研究所の入札で、銅・モリブデン鉱床が賦存されると期待される Pantanos-Pegadorcito 鉱区 (Antioquia 郡、2,800ha) を、1.14 百万 US\$で落札した(2007 年 9 月)。

(3) 操業

①ボリビア Colquiri 錫鉱山を一部拡張へ

- ・ ボリビア現地法人 Sinchi Wayra が Colquiri 錫鉱山の一部拡張計画に 144 百万 US\$投資すると発表。これにより Colquiri 錫鉱山の尾鉱ダムからの銀・鉛・亜鉛精鉱の回収量を 2 千 t/月まで倍増させる見込み。
- ・ 同鉱山からの錫鉱石の供給は 2007 年 2 月の Vinto 錫製錬所の国有化より停止が続いている。(2007 年 4 月)

②ザンビア Mopani 鉱山を巡る動き

- ・ 2007 年 4 月に坑内出水で操業停止していた Mopani 鉱山会社(権益比率:Glencore 73.1%、First Quantum 社 16.9%、国有企業 ZCCM 社 10%)の Mufulira 銅鉱山が 5 月に操業を再開した。また、Equinox Resources 社とザンビア Lumwana プロジェクトにつき長期供給契約を締結。これにより操業開始から 5 年間、銅を含む精鉱を年間 169 千 t、Mufulira 製錬所へ供給する予定である。Mopani 鉱山会社は Mufulira 銅鉱山・製錬所、Nkana 鉱山・コバルト製錬所を操業している(2007 年 7 月)。

(4) その他

①ボリビア政府等との鉱山に関する争議

<Bolivar 錫鉱山および Colquiri 錫・亜鉛鉱山を巡る争議>

- ・ ボリビア政府関係者が Glencore の現地法人である Sinchi Wayra が操業している Bolivar 錫鉱山および Colquiri 錫・亜鉛鉱山より、インジウムを密輸出したと主張した。ボリビア側は密輸出されたインジウムの量は不明であり今後調査し、追徴課税する意向を示した。これに対し Glencore はコメントを控えている(2007 年 5 月)。

<Totoral 錫鉱山を巡る争議>

- ・ ボリビア現地法人 Sinchi Wayra に Totoral 錫鉱山の優先的な採掘権を付与した競売を無効にするための訴訟を Compania Minera Orlandini Ltda (Orlandini 社) が起こした。これに対して Glencore は根拠がないものと否定している。Orlandini 社は優先的な採掘権の公的競売は憲法裁判所で違法であると公言されていると主張している。同鉱山の Pomabamba 鉱脈では鉱量 60 万 t で推定平均品位が亜鉛 14%、錫 1.2%、鉛 1.2%、銀 500g/t を捕捉している (2007 年 6 月)。

②ペルー Yauliyacu 鉱山及び Iscaycruz 鉱山の閉山計画書を近く提出

- ・ Perubar 及び Los Quenuales 等の現地法人により操業を行う鉱山並びにカヤオ港の精鉱保管倉庫の閉鎖作業に 45 百万 US\$ を投じる計画。

既に、専門コンサルタントによる Yauliyacu 鉱山及び Iscaycruz 鉱山 (双方とも Los Quenuales が操業) の閉山計画調査が終了し、閉山経費が 33 百万 \$US となる見込み。またカジャオ港の精鉱保管所の閉鎖経費は 12 百万 US\$ となる見込み。これらの閉山計画書をペルー・エネルギー・鉱山省に提出し承認を受けることになる。さらに、2009 年以降には Perubar が操業する Rosaura 鉱山の閉山も計画している。

IV. その他企業の動向、主要国の生産統計

1. 豪州企業

1-1. 概要

オーストラリア鉱業は依然として好調である。鉱山会社各社の生産量増加の主な要因は、高値を続ける鉱物資源価格と中国を中心とする旺盛な需要に対応したものである。一方、豪ドル高に加え、技術者・技能労働者不足・資機材の不足等による価格上昇は生産コストを押し上げ、インフラストラクチャー整備も輸出拡大に追いついておらず、依然として好調な鉱業のマイナス要因として懸念されている。

本稿では、下記のオーストラリア関係主要非鉄企業の財務状況・生産状況・探鉱開発状況について下記16社の四半期報告等をもとに取りまとめたものである。

- 1) Alumina Limited (アルミナ)
- 2) Alcoa World Alumina and Chemicals 社 (AWAC) (アルミナ)
- 3) CBH Resources Limited (亜鉛・鉛・銅)
- 4) Consolidated Minerals Limited (クロム、マンガン、ニッケル)
- 5) Energy Resources of Australia Ltd (ERA) (ウラン)
- 6) Iluka Resources Limited (ミネラルサンド)
- 7) Jubilee Mines NL 社 (ニッケル)
- 8) Kagara Zinc Limited (亜鉛・鉛・銅)
- 9) Lihir Gold Limited (金)
- 10) Minara Resources Limited (ニッケル・コバルト)
- 11) Mincor Resources NL (ニッケル)
- 12) Newcrest Mining Limited (金・銅)
- 13) Oxiana Limited (金・銅)
- 14) Perilya Limited (亜鉛・鉛)
- 15) Sally Malay Mining Limited (ニッケル)
- 16) Zinifex Limited (亜鉛・鉛・銅)

1-2. 豪州主要各社の生産・財務状況

1) Alumina Limited

(1) 財務状況

Alumina 社は、2001 年に Western Mining Co. がアルミニウム部門とその他の部門とに分離した際にアルミニウム部門をもとに設立された会社。その他の部門は、WMC Resources Ltd. となりニッケル、銅、ウランその他の事業を実施していたが、2005 年に BHP Billiton に買収された。

(単位：百万 A\$)

百万 A\$	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
税引き後純利益	152.3	259.9	251.2	284.3	・ 税引き後純利益は、対前年同期比 9.4%、対前半期比 13.2%増加となった。 ・ 米ドル対するオーストラリア・ドル高が税引き後利益のマイナス要因となっている。

出典) June 2007 Half-Yearly ASX Report, 1 August 2007
December 2006 Preliminary Final ASX Report, 1 February 2007
June 2006 Half Yearly ASX Report, 3 August 2006

(2) 生産状況

AWAC 社の項参照

(3) 探鉱・開発状況

AWAC 社の項参照

2) Alcoa World Alumina and Chemicals (AWAC)

(1) 財務状況

AWAC 社は、Alcoa 社(米国)が権益 60%、Alumina Limited が権益 40%を持つ JV 企業。

(単位：百万 US\$)

百万 US\$	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
総収入	2,327.7	2,774.0	2,909.1	2,902.7	・アルミナ、アルミニウム価格上昇、中国を中心にした堅調な需要により税引き後利益は、対前年同期比 4.6% 増加。
税引き後利益	335.3	579.6	542.5	575.6	

出典) Public Announcement 2007 - 23AWC, 1 August 2007
Public Announcement 2006 - 16AWC, 3 August 2006

(2) 生産状況

鉱種	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
アルミナ (Mt)	6.9	7.0	7.3	7.0	・前年同期、前期とほぼ同水準の堅調な生産。 ・Pinjarra 精錬所(西オーストラリア州)の増強が堅調な生産に貢献。一方、Kwinana 精錬所(西オーストラリア州)、Point Comfort 精錬所(米国テキサス州)は能力の 85%程度の生産に留まる。
アルミニウム ('000t)	190	183	194	192	・生産量は、対前年同期比 4.9%増加。 ・Portland 製錬所(ビクトリア州)の電力供給障害の影響で生産量は微減。

*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Public Announcement 2007 - 23AWC, 1 August 2007
Public Announcement 2007 - 2AWC, 1 February 2007
Public Announcement 2006 - 16AWC, 3 August 2006
December 2005 Preliminary Final ASX Report, 1 February 2006
Public Announcement 2005 - 16AWC, 4 August 2005

(3) 探鉱・開発状況

- ・ AWAC 社の今期投資支出額は、476.4US\$、Jamalco アルミナ精錬所(AWAC 社 100%、ジャマイカ)の拡張工事(生産能力を年間 146,000t 増強)、Alumar アルミナ精錬所(ブラジル)の拡張(3.5 百万 t/年、AWAC 分は 1.1 百万 t/年)、Juruti ボーキサイト鉱山(ブラジル、2.6 百万 t/年能力)などに充てられる。
- ・ Jamalco アルミナ精錬所は、2007 年第 1 四半期に建設は完了、第 2 四半期に運転開始予定。
- ・ Alumar アルミナ精錬所と Juruti ボーキサイト鉱山は、建設中。ブラジル通貨高騰によりコストが上昇。プロジェクトは、将来の拡張に備えて鉄道、港湾施設などのインフラストラクチャの建設も含んでいる。建設費用は 600 百万 US\$増加して 23 億 US\$。

出典) Public Announcement 2007 - 23AWC, 1 August 2007

3) CBH Resources Limited

(1) 財務状況

Panorama 鉱床(西オーストラリア州)の開発を目的とした転換社債 2 百万 A\$を発行。

(単位: 千 A\$)

	2005 12 月末半期	2006 *1 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 *2 7 月末半期	コメント
総収入	48,993	37,020	141,773	127,685	・ Endeavor 亜鉛鉱山の鉱石処理量が前年度比 87%増加の 975 千 t に達するなど好調であったこと、金属価格の高騰が好業績の主な要因。
税引き後純利益	▲10,989	▲4,143	21,115	17,573	
探査費用*3	5,252		21,074		

*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*3 Exploration & Evaluation Expenditure

出典) Quarterly Report for the period ending 31 March 2007, 18 April 2007

Half Year Report Condensed, Financial Report For the half-year ending 31 December 2006, 20 February 2007

Appendix 4E, Preliminary Final Report Year ended 30 June 2006, 20 September 2006

(2) 生産状況

(単位: 精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
亜鉛精鉱(t)	6,250	11,000	16,300	14,500	10,400	・ Endeavor 鉱山は、鉱山の最下底の 290 レベルから主に鉱石を採掘。品位は中・上部よりも低い。 ・ アクセス制限、鉱石引き出し距離の増加により選鉱所へ運搬される鉱石量が減少。 ・ 埋蔵量の多くが鉱山中央部にあり、ペースト充填エリアが主要採掘部となる。 ・ 充填設備への投資を加速、設計能力に近づく。
鉛精鉱(t)	3,500	5,980	9,080	6,900	4,600	
銀(kg)	2,370	3,880	5,300	4,400	3,800	

Newcastle 積出港取扱量

(単位: t)

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
積出量	80,400	66,935	98,964	92,319	55,980	・ 当期は鉱山からの精鉱受入、精鉱の積出しともに遅延なく行われた。
貯鉱量	12,446	31,608	34,123	23,031	53,105	

出典) Quarterly Report for the period ending 30 June 2007, 25 July 2007

Quarterly Report for the period ending 31 March 2007, 18 April 2007

Quarterly Report for the period ending 31 December 2006, 21 January 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Endeavor 亜鉛・鉛鉱山(ニューサウスウェルズ州)は、ペースト充填設備が設計能力に到達。プラントからの直接充填によるペースト充填の能力を追加。マイニング・コントラクター(請負採掘業者)の導入により開発を加速。新たな斜坑が 2008 年には完成し、生産量増大とコスト削減に期待。

- ・ Panorama 亜鉛・銅鉱山(西オーストラリア州、CBH 60%)は、開発は計画通りの進捗。環境許可がプロジェクト開始時期の鍵となる。西オーストラリア州政府は承認の最終段階に入り、2007年12月には一般に公開する予定。詳細設計を実施、初期投資額は2006年に見積もった213百万A\$以内に収まる見込み。業者選定を2007年第3四半期に行い、2008年3月末半期には環境許可を取得して工事を開始する予定。露天採掘、採掘量1.5百万t、生産量：亜鉛50,000t/年、銅20,000t/年、埋蔵量10百万t、品位Zn 3.7%・Cu 1.5%。
- ・ Broken Hill 西部鉱化帯(ニューサウスウェルズ州)は、Kintore 露天採掘ピットの最下底から斜坑を346mまで掘削。プラント詳細設計とレイアウトが完了。2008年9月末四半期の操業開始に向けた調達・建設スケジュール完了。F/S調査、費用見積りは9月末四半期に完了する予定。採掘量750,000t/年、生産量：亜鉛精鉱量(Zn品位50%)65,000t/年、鉛精鉱量(Pb品位70%)35,000t/年、Ag 800,000oz。斜坑建設の間、Kintore 露天採掘ピットの残存高品位鉱石15,000tを採掘、7,400tをEndeavor 鉱山へ輸送。
- ・ CBH社は、Broken Hill 鉱山の過去の記録から高品位鉱石が2百万t残存していると評価、ボーリング調査を今後、実施する計画。
- ・ Mineral Hill 金・亜鉛・鉛・銅プロジェクト(ニューサウスウェルズ州)は、鉱山の再開許可の手中。予察的なFS調査を実施、鉱石採掘量を400,000t/年から500,000t/年へ拡大することを検討。

(探鉱)

- ・ Hera 金・亜鉛・鉛・銅プロジェクト(ニューサウスウェルズ州 Cobar)は、鉱体へのアクセスのための探鉱坑道建設の許可取得。ボーリング調査の結果を元に鉱体モデルと資源量の再検討、資源量2.2百万t、品位Au 3.4g/t、Zn 4.2%、Pb 3.1%、Cu 0.2%、Ag 18g/t。
- ・ Panorama 亜鉛・銅探鉱JV(西オーストラリア州、CBH 60%権益取得中)は、鉱化作用が露天採掘ピットの下部及び走向方向に延長しており操業期間延長の可能性あり。Kangaroo Caves 地区では、走向方向に6kmの浅所に亜鉛・銅鉱化あり、ボーリングの目的は露天採掘可能な亜鉛・銅鉱化の捕捉。
- ・ Mineral Hill 金・亜鉛・鉛・銅鉱床プロジェクトは、Parkes Hill での露天採掘の可能性確認と冶金試験用サンプルのためのボーリング調査を予定。
- ・ Sorby Hills 亜鉛・鉛・銀探鉱(西オーストラリア州 Kimberley 地域)は、資源量10.7百万t、品位：Pb 6.6%、Zn 0.6%、銀81g/t)、過去のボーリング結果確認、冶金試験用サンプル、地質工学的データ取得のためのボーリング調査は第3四半期実施予定。
- ・ Cobar 地域亜鉛・鉛・銅探鉱(ニューサウスウェルズ州)では、Wonawina 地区、Sandy Creek 地区でボーリングを実施。Endeavor 鉱山地区でIP調査を今期、実施予定。
- ・ Broken Hill 地域亜鉛・鉛・銀・銅・金広域探査(ニューサウスウェルズ州)では、原位置簡易分析装置(Niton)による地化学データ取得(47,000件のデータ取得)、鉛-亜鉛の異常範囲を把握。
- ・ Panorama 亜鉛・銅鉱床では、Kangaroo Cave 地区の地表から200m以内の深さで亜鉛・銅の高品位部を捕捉、その他、Jamesons 地区とBreaker 地区でもボーリングを実施、結果待ち。
- ・ Napier Range 亜鉛・鉛探鉱JV(西オーストラリア州、CBH 70%権益取得中)は、IP調査によって選定された地点でボーリングを実施。異常帯はWagon Pass 鉱床から走向方向に延長。

出典) Quarterly Report for the period ending 30 June 2007, 25 July 2007

4) Consolidated Minerals Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
売上げ	103.2	111.5 *1	119.2	152.2 *2	・生産量の増加と金属価格の上昇により6月末までの12か月間の売上げは27.9%、税引き前利益は188.0%増加。
税引き前利益*3	N. D.	N. D.	35.1	66.5	
税引き後利益*4	3.2	▲9.7	10.2	20.8 *2	

*1 2006年6月末までの12か月分から、2005年12月末までの6か月分を差引いた数値

*2 2007年6月末までの12か月分から、2006年12月末までの6か月分を差引いた数値

*3 Total Operating EBITDA

*4 Profit attributable to members of Consolidated Minerals Limited

出典) Quarterly Activities Report for the Period ended 30 June 2007, 13 July 2007

Annual Report 2006,

Half Year Report 31 December 2006, 23 February 2007

Half Year Report 31 December 2005, 2 March 2006

(2) 生産状況

(単位：t)

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
マンガン	214,720	244,975	226,631	196,256	234,190	・対前年同期比9.1%増加、年間生産量は対前年度比1.5%増加の902,052tで年間計画生産量90~92.5万tを上回る。
クロム	65,633	64,040	61,975	62,366	68,555	・対前年同期比4.5%増加、年間生産量は対前年度比1.6%増加の256,936tで年間計画生産量24~25万tを上回る。
ニッケル	1,071	1,059	964	966	1,189	・年間生産量は4,178tで年間計画生産量4,000tを上回る。

出典) Quarterly Activities Report for the Period ended 30 June 2007, 13 July 2007

Quarterly Activities Report for the Period ended 31 March 2007, 25 April 2007

Quarterly Activities Report for the Period ended 31 December 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Kambalda 地区では、高品位の East Alpha 探掘ブロックの北と南を中心に開発。通気立孔が2007年8月初旬に予算内で完成予定。Kambalda Dome での探鉱と鉱山開発は、2008年度第1四半期に開始の見込み。
- ・ Widgiemooltha 地区では、ニッケル鉱石の BHP Billiton への売鉱契約 (Off take agreement) に署名、2008年度第1四半期に生産開始予定。

(探鉱)

- ・ マンガンは、Woodie Woodie 鉱山地域では、Rhodes 露天探掘ピットの資源量を1,389,158t・Mn 44.4%と評価、鉱化は南西、東、北東方向に伸びていることを把握。Ranchu 地区のポーリングで好結果を得る(幅10m・Mn 52.1%など)。
- ・ ニッケルは、Gillet 地区で新たな鉱床を発見(幅14.2m・Ni 1.46%など)。Belta Hunt 地区 Belta West ブロックのポーリングで好結果を得る(幅4.0m・Ni 7.4%など)。

- ・ クロムは、Coobina 地区で構造解析と RC ボーリング計画策定、2007 年 7 月にボーリング実施予定。当期の探鉱支出は 115,000A\$。

出典) Quarterly Activities Report For the Period ended 30 June 2007, 13 July 2007

5) Energy Resources of Australia Limited (ERA)

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
収入	136.2	154.7	162.5	114.3	・収入は対前年同期比 26%減少、税引き後純利益は同 71%減少。大雨のため 2~3 月の Ranger 鉱山の生産が遅れたことが影響。
税引き後純利益	23.7	19.9	23.7	5.7	

*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half-Year Result 2007, 26 July 2007
Full Year Result 2006, 1 February 2007
Half-Year Result 2006, 26 July 2006
Full Year Result 2005, 1 February 2006

(2) 生産状況

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
ウラン (tU ₃ O ₈)	596	1,103	1,662	1,006	1,490	<ul style="list-style-type: none"> 生産量 (U₃O₈) は、対前四半期比 150% 増加、対前年同期比 48% 増加となった。 鉱石処理量は、対前四半期比 40% 増加、対前年同期比 70% 増加となった。雨期前の高品位鉱石処理による効果。 採掘量は、対前四半期比 10% 減少、対前年同期比 191% 増加となった。 品位は、対前四半期比 7% 向上、対前年同期比 59% 向上となった。 回収率は、対前四半期比 3% 向上、対前年同期比 4% 向上となった。
処理鉱石 ('000t)	330	622.5	555.2	399.3	559.3	
採掘量 ('000t)	N. D.	957.8	1,553.7	769.5	690.9	
品位 ('000t)	N. D.	0.201	0.34	0.28	0.30	
回収率 (%)	N. D.	87.6	87.5	86.0	88.8	

出典) Second Quarter Operation Review (unaudited), 17 July 2007
First Quarter Operation Review (unaudited), 16 April 2007
Fourth Quarter Operation Review (unaudited), 16 January 2007
Third Quarter Operation Review (unaudited), 18 October 2006

(3) 探鉱・開発状況

(探鉱)

- ・ 2007 年第 2 四半期の Ranger 地区の探鉱費は 3.0 百万 A\$。6 月末までの 1 年間の探鉱費は 6.8 百万 A\$。
- ・ 資源量拡大の可能性を確かめるためのボーリングを Ranger 露天採掘ピット 3 の東側で実施。
- ・ Ranger 鉱山露天採掘ピット 3 東隣接地区では、鉱化が南東方向へ伸びている。ボーリングは、既存の露天採掘ピット内及びピットとアクセス道路との間で 6 孔・総延長 1,578m 実施 (幅 23m・0.291% U₃O₈、幅 6m・0.203% U₃O₈ などの結果を得る)。
- ・ Ranger 鉱山露天採掘ピット 3 深部探鉱では、30 孔・総延長 13,061m 実施 (幅 6m・0.238% U₃O₈、幅 9m・0.247% U₃O₈ などの結果を得る)。
- ・ Ranger18 East は、今期は探鉱せず。

出典) Second Quarter Operation Review (unaudited), 17 July 2007

6) Iluka Resources Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 *1		2006		2006 *2		2007		コメント
	12 月末半期		6 月末半期		12 月末半期		6 月末半期		
売上げ	456.7		452.4		550.8		422.7		・ 全ての生産物の価格は上昇したが、A\$の対 US\$レート高の影響を受ける。西オーストラリア州からの製品の積出し障害も売上げに影響。
税引き後純利益	-165.2		32.2		-11.2		42.0		
探鉱支出	6.1	6.3*1	4.5	5.1	4.5	5.3	4.7	5.1	

*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*3 2005 年 12 月末までの 1 年間から 2005 年第 1 四半期から第 3 四半期までの合計を引いた額

出典) Iluka Half Year Report 30 June 2007 , 23 August 2007
 June Quarter 2007 Production and Exploration Report, 18 July 2007
 March Quarter 2007 Production and Exploration Report, 19 April 2007
 Iluka Results for The Year ended 31 December 2006, 22 February 2007
 Chairman's Letter & 2006 Half Year Report to Shareholder , 30 August 2006
 Full Year Result 2005, 1 February 2006
 Iluka Half Year Report 30 June 2005 , 17 August 2005

(2) 生産状況

(単位：t)

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
ルチル	42,357	36,938	41,843	43,635	52,746	<ul style="list-style-type: none"> ルチル生産量は、対前四半期比 20.9% 増加、対前年度比 24.5% 増加。Murray Basin と CRL の好調な生産が貢献。 人工ルチル生産量は、対前四半期比 11.4% 増加、対前年度比 35.9% 増加。 リュウコキシシ/Hyti 生産量は、対前四半期比 27.6% 増加、対前年度比 47.3% 減少。老朽化した施設のメンテナンスが影響した。 ジルコン生産量は、対前四半期比 20.8% 増加、対前年度比 27.3% 増加。Murray Basin (ビクトリア州/ニューサウスウェルズ州) の生産が貢献したほか、Mid West (西オーストラリア州)、Virginia (米国) CRL (クィーンズランド州) の操業も好調であったが、Florida/Georgia (米国) での操業不調が一部相殺。 石炭生産量は、対前四半期比 70.2% 増加、対前年度比 66.1% 増加。
人工ルチル	101,281	139,348	136,541	123,497	137,601	
イルメナイト	423,229	412,992	419,040	424,001	402,518	
リュウコキシシ/Hyti	15,615	9,304	6,037	6,457	8,236	
ジルコン	100,483	105,428	113,082	116,439	140,664	
石炭	225,497	233,575	353,752	220,065	374,659	

出典) June Quarter 2007 Production and Exploration Report, 18 July 2007

March Quarter 2007 Production and Exploration Report, 19 April 2007

December 2006 Quarterly Production and Exploration Report, 18 January 2007

December Quarter 2005 Production & Exploration Report, 19 January 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ 当期の資本投資額は、37.3 百万 A\$、2007 年 6 月末までの 6 か月間の投資額は 76.6 百万 A\$。
- ・ 西オーストラリア州では、Waroon/Cloverdale ミネラルサンド開発への投資。Murray Basin

プロジェクト第1フェーズの最終の投資。

(探鉱)

- ・ 当期探鉱費は5.5百万A\$ (前四半期4.7百万A\$)。その内訳は、Perth Basin (西オーストラリア州) に23% (前四半期27%)、Eucla Basin (南オーストラリア州) に21% (20%)、Murray Basin (ビクトリア州/ニューサウスウェルズ州) に21% (22%)、米国に15% (18%) であった。
- ・ Perth Basin では、Mid West 地域 (Adamson, North Mines, Brandy Flats 地区) 及び South West 地域 (Dardanup, Tutunup 地区) で鉱床の連続性と資源量評価に向けた探鉱を継続中 (Perth Basin でのボーリング総延長は20,404m)。
- ・ Murray Basin (ビクトリア州/ニューサウスウェルズ州) では、Balranald 地域及び West Balranald 地域 (ニューサウスウェルズ州) でのボーリング完了。Bondi 鉱体の東延長で434孔・総延長5,640mのボーリングを実施 (Murray Basin でのボーリング総延長は21,776m)。
- ・ Eucla Basin (南オーストラリア州) では、層序確認のための広域的な調査とミネラルサンドの異常地点の確認のための総延長5,800mのボーリングを一部実施 (計画の64%が完了)。Tripitaka 地区 (Colona JV: Iluka 社51%、Adelaide Resources Limited 49%) は総延長11,000mのボーリングを実施、資源量 (indicated) の増加につながる十分な地質情報を得た。Jacinth 鉱床は、鉱化の境界を確認するためのボーリングを実施。室内試験により、Eucla Basin で新たな鉱化を発見、Typhoon プロジェクトと命名。鉱床を横断する6孔総延長1,000mのボーリング調査を実施 (深度100~400m)、厚さ21m以下、Zr品位17% (重砂カットオフ品位1%) を得る (Eucla Basin でのボーリング総延長は19,535m)。
- ・ 米国では、Atlantic Basin (米国バージニア州) で既存の Virginia オペレーション (米国バージニア州) の寿命延長のための広域的な調査を実施。Red Oak 及び White Oak (ノースカロライナ州)、Old Hickory (バージニア州) でボーリングを実施 (米国でのボーリング総延長は7,719m)。

出典) June Quarter 2007 Production and Exploration Report, 18 July 2007
March Quarter 2007 Production and Exploration Report, 19 April 2007

7) Jubilee Mines N.L.

(1) 財務状況

(単位：百万A\$)

	2005 12月末半期	2006 *1 6月末半期	2006 12月末半期	2007 *2 6月末半期	コメント
収入(売上)	85.5	208.3	244.9	142.8	・2007年6月末までの12か月の売上げは前年度比32%増加の387.6百万A\$、税引き後純利益は67.4%増加の173.1百万A\$となった。
税引き後純利益	23.3	80.1	107.6	65.5	
探鉱支出	0.48	24.7	11.8	0.72	

*1 2006年6月末までの12か月分から、2005年12月末までの6か月分を差引いた数値

*2 2007年6月末までの12か月分から、2006年12月末までの6か月分を差引いた数値

出典) Jubilee Mines NL Condensed Consolidated Income Statement For The Half-Year Ended 31 December 2006
Jubilee Mines NL Income Statement For The Year Ended 30 June 2007

(2) 生産状況

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
ニッケル精鉱 (dmt)	17,097	12,093	15,324	8,478	6,930	・Cosmos 硫化ニッケル鉱山(西オーストラリア州)の生産は堅調。 ・Helen 斜坑の建設はスケジュール、費用ともに計画の範囲内で進捗。 ・当期の精鉱出荷(Shipment)は1回、7,717t。2回目の出荷は7月に遅延。
ニッケル品位 (%)	5.84	4.55	6.39	2.79	3.09	
回収率 (%)	95.2	94.0	95.4	93.6	87.2	

出典) QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 30 JUNE, 27 July 2007

QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 31 MARCH, 27 April 2007

QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 31 DECEMBER 2006, 29 January 2007

QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 30 SEPTEMBER 2006, 26 October 2006

QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 30 JUNE 2006, 27 July 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Cosmos 鉱山(西オーストラリア州)の採掘への投資は、主に Alec Maris Complex、Prospero、Tapinos 鉱床の開発と鉱山関連サービスに充てられた。Prospero 鉱体の深部にある Tappinos 鉱体へアクセスするための Helen 斜坑建設がスケジュール通りの進捗(571m 屈伸)、2008年3月四半期下旬には生産開始の予定。電磁気選鉱機を新たに導入。低品位鉱石の品位向上に期待。
- ・ Sinclair 鉱床(西オーストラリア州 Cosmos 鉱山の南100km)は、F/S 調査を実施中。露天採掘ピットの最適化と坑内採掘の設計、スケジュール、コントラクトマイナー(請負採掘者)の検討実施。予察的なエンジニアリング設計、環境調査等を実施。
- ・ 新たに発見した Alec Mairs 5(AM5) 鉱床は、坑内採掘に向けてボーリング等を計画。
- ・ Anomaly 1 鉱床は、開発を加速。精鉱の量・質・タイミングなどのパラメーターを引き取り先と今後6か月以内に交渉の予定。

(探鉱)

- ・ Alec Mairs 2(AM2) 鉱床では、Cosmos Deeps 鉱山の南500mに高品位硫化ニッケル鉱化の深部方向への延長を確認(幅3.3m・Ni 10.6%、幅1.3m・Ni 13.3%)。鉱化は少なくとも深さ70mにわたり傾き方向に伸びており、更に100m以上伸びている可能性がある。

- ・ 鉱染状・塊状硫化ニッケル鉱化 Alec Mairs 5 (AM5) を Alec Mairs 2 の東 100m に新たに発見した。塊状部で Ni 8~20%、鉱染状部で Ni 1.5~4%。
- ・ Sinclair 鉱床では、新たなボーリング地点を抽出。
- ・ Sinclair 鉱床では、ボーリング調査の結果、鉱化作用の深部への延長を確認。
- ・ Sinclair 鉱床 (Bannockburn 地区) は、資源量 (1.22 百万 t・Ni 2.77%) の確認、F/S 調査のデータ取得のための調査を実施。広域的に予察のための地表からの RC ボーリングを実施 (5.4m・Ni 4.7% などの結果を得る)。
- ・ 広域調査では、Sinclair 鉱床で RC ボーリング、EM 調査、モデル検討を実施。
- ・ ACRA-JV 広域探査プロジェクト (西オーストラリア州 Kalgoorie 北東 75km、Jubilee 社権益 75%) は、総延長 3,890m のボーリング (Aircore) を実施。
- ・ Emu Lake-JV 広域探査プロジェクト (西オーストラリア州 Kalgoorie 北東 70km、同 60%) は、探査せず。

出典) QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 30 JUNE, 27 July 2007

8) Kagara Zinc Limited

(1) 財務状況

(百万 A\$)

	2005	2006 *1	2006	2007 *2	コメント
事業収入	31.4	85.3	123.9	163.7	・ Mt Garnet 鉱山(クィーンズランド州)の生産が好調なことと金属価格が高騰したことにより、税引き後利益は、対前年度比 152%増加の 89.8 百万 A\$に達した。
税引き後利益	5.4	30.2	38.9	50.9	
探鉱費	5.5	9.4	12.0	15.0	

*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half Year Report- 31December 2006, 27 February 2007

Half Year Report- 31December 2005, 3 March 2006

Half Year Report- 31December 2004, 22 February 2005

Annual Report 2006

(2) 生産状況

(単位：精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
銅 (t)	2,110	2,396	4,076	5,813	6,227	<ul style="list-style-type: none"> ・ 銅は対前四半期比 7.1%増加、対前年同期比 159.9%増加。 ・ 亜鉛は対前四半期比 21.8%増加、前年同期並み。 ・ 鉛(副産物)は対前四半期比 24.4%増加、前年同期並み。 ・ 銀(副産物)は対前四半期比 5.6%増加、対前年同期比 166.7%増加。 ・ 金(副産物)は対前四半期比 4.5%増加、対前年同期比 193.7%増加。 ・ 大雨が続いたが銅は記録的生产量となった。Mt Garnet と Thalanga の両鉱山(共にクィーンズランド州)の生産は 5,534t に達した。
亜鉛 (t)	9,521	10,099	10,770	7,785	9,480	
鉛 (t)	2,827	3,071	3,459	2,219	2,761	
銀 (t)	2.1	6.0	7.4	5.3	5.6	
金 (kg)	14.3	51.0	65.4	40.2	42.0	

出典) Quarterly Activity Report for the period ending 30 June 2007

Quarterly Activity Report for the period ending 31 March 2007

Quarterly Activity Report for the period ending 31 December 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Balcooma 銅鉱山(クィーンズランド州)では、斜坑建設中。当期は 452m 掘進、総延長 591.3m に達する。
- ・ Mungana 鉱床の探鉱斜坑の建設は 1,564.5m 掘進。575m までの開発が完了。第二立孔の掘上がりを含む。
- ・ インフラストラクチャー、発電系統が完成。Mungana、King Vol 鉱体の鉱山設計と埋蔵量評価を実施。廃さいダムの位置に関する修正申請に対する環境当局からの許可が遅れている。
- ・ Mt Garnet 亜鉛・鉛鉱山では、露天採掘ピットから 425,000t の廃さいを除去、鉱石 2,000t を採掘・貯鉱した。2008 年の 1~3 月までに鉱石 200,000t・品位 Zn 6%・Cu 0.4%を貯鉱する計画。

(探鉱)

- ・ Red Dome 地区では、最初のボーリング 2 孔の好結果 (幅 33m・Au 1.78g/t・Cu 0.3%、幅 36.7m・Au 2.40g/t・Cu 0.1%) を受けて、ボーリング 3 孔を実施、金・銅の鉱化作用を確認。西部地区では深部 700m 以深にも鉱化延長。
- ・ Red Cap 地区では、Red Cap-Morrison ライン、North Victoria ラインでボーリングを開始する予定。
- ・ King Vol 地区では、資源量評価 (inferred から indicated) に遅れ。3 代目のボーリング機の契約を締結、スケジュール通りのボーリング進捗を期待。
- ・ Thalanga 地区では、Vomacka 鉱床、West 45 鉱床の地質工学及び冶金試験用のボーリングを開始。冶金試験用ボーリングの結果を受けて、Waterloo 鉱床 (資源量 244,000t・Zn 13.8%・Cu 3.8%・Pb 3.0%・Ag 74g/t) へ向けて 4 孔のボーリングを計画。
- ・ Admiral Bay 鉱床では、ボーリング調査を実施 (深度 1,200m)、主要亜鉛鉱化は厚さ 15~20m・Zn+Pb 8%、主要鉱化帯の下部 100m に高品位鉛鉱化帯 (厚さ 15m・Pb 10~20%・Ag 30~60g/t)。
- ・ Forrestania Nickel 地区では、Lounge Lizard 地区でボーリングを開始。1 孔目は Western Area NL 社の T5 鉱床下部に向けて同社と共同で実施。目標深度は 1,450m。鉱染状の硫化ニッケル鉱化が確認されている。

出典) Quarterly Activity Report for the period ending 30 June 2007

9) Lihir Gold Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 US\$)

百万 US\$	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
収入	156.1	177.7	208.3	235.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上げは前年度同期比 32%増加の 235.3 百万 A\$ ・ 営業利益は同 45%増加の 94.7 百万 A\$となったが、ゴールドローンの早期返済に 117.9 百万 A\$、更に、金ヘッジの解消のコストが加わり、税引き後は 53.1 百万 A\$の損益計上となった。
税引き後利益	30.6	23.1	30.8	-53.1	
探鉱費	1.9	3.1	2.8	2.9	

出典) Financial Result for Half Year ended 30June 2007, 22 August 2007
Fourth Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 30 January 2007

(2) 生産状況

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
金 (千 oz)	113	127	226	193	182	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産量は、対前四半期比 5.7%減少、対前年度同期比 61.1%増加。6 月末までの年間生産量は 729 千 oz。 ・ 金品位は、対前四半期比 10.4%低下、対前年度同期比 35.6%上昇。 ・ 現金コストは、対前四半期比 5.8%減少、対前年度同期比 26.6%減少。 ・ 採掘量、鉱石処理量とも増加。
金品位 (g/t)	4.02	4.16	5.92	6.08	5.45	
コスト (US\$/oz)*	372	361	241	290	273	

* Total Cash Cost

出典) Second Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 26 July 2007
First Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 12 April 2007
Fourth Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 30 January 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Lihir 鉱山の選鉱設備 (SAG ミル、ボールミル) の試運転完了。浮遊選鉱設備からの精鉱生産は 7 月第 1 週より開始。液化酸素プラント能力 10t/時間増強により 84t/時間の酸素製造が可能となる。シックナーの改良により (grinding thickener から washing thickener へ)、消石灰の使用量を削減。
- ・ Lihir 地熱発電設備拡張 (36MW から 56MW へ、タービン 2 基) は 2007 年 4 月完了。
- ・ 空港施設の改善により、フライ・イン・フライ・アウトが容易になる。
- ・ Ballarat 鉱山開発は計画通り順調に進捗。1,064m 掘進。通気、電源、排水、事務所、分析室等のインフラストラクチャの建設継続。立坑の最終許可は 7 月ころの見込み。

出典) Second Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 26 July 2007

10) Minara Resources Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
収入	177.5	268.5	483.4	529.9	<ul style="list-style-type: none"> 収入は、対前年度同期比 97.3%増加、対前四半期比 9.6%増加、税引き後利益は、対前年度同期比 144.6%増加、対前四半期比 3.6%増加。 Murrin Murrin 鉱山の操業状態が堅調なこととニッケル・コバルトの需要が堅調なことが好業績の要因。
税引き後利益	26.4	100.7	238.0	246.5	

*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 5 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half Year Report 30 June 2007, 23 August 2007

Full Year Report 2006, 1 Mrch 2007

Half Year Results, 24 August 2006

(2) 生産状況

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
ニッケル (t) (権益 60%分)	4,055	5,521	4,957	4,374	4,559	<ul style="list-style-type: none"> Murrin Murrin ニッケル鉱山(権益 60%)の生産は順調。ニッケル(Packaged Nickel)7,598 t(権益 100%ベース)、コバルト 551 t(同)、混合硫化鉱(Mixed Sulfides)1,000t 生産。 プラントの操業状態は良好。 予想年間生産量(Packaged Nickel)を 31,000 -33,000t に修正。 精錬部分で発生しているボトルネックが原因で、在庫(混合硫化鉱)が発生している。第 3 四半期には対策を講じて在庫を一掃する予定。 採掘は順調で、鉱石処理量 808,599t・品位 Ni 1.34%。
コバルト (t) (権益 60%分)	304	285	370	307	331	

出典) Quarterly Report 30 June 2007, 6 July 2007

Quarterly Report 31 March 2007, 5 April 2007

Active Report for the Period ended 31 December 2006, 12 January 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ ヒープリーチング・プラントは当初予定の回収率に達する。25 百万 A\$の追加投資により浸出パッドを 3 基から 8 基に拡張予定、浸出パッド 3 と 4 は完成。現在の生産能力はニッケル 2,000t/年、コバルト 150t/年。進捗はスケジュール通り、予算範囲内。
- ・ Grey Mare Borefield は 4/5 月に開始、予算内に完了。更に 6.9 百万 A\$を投資して追加ボーリングを実施する予定。

(探鉱)

- ・ 年間探鉱予算は 10.6 百万 A\$。
- ・ Mt Rankin/Collurabbie JV(西オーストラリア州、Gryphon Minerals Ltd から権益 70%取得中)

は、2年間で探鉱費 5.5 百万 A\$を支出し、ニッケルに関して権益 70%をその他鉱種については 60%を取得する予定。今期は、ボーリングを実施したが、塊状・鉱染状硫化ニッケル鉱化を捕捉したものの、経済性のある品位は得られず。ただし、亜鉛(幅 1m・Zn 1.58%)、銅(幅 1m・Cu 0.35%)の鉱化を確認、フォローアップの TEM と RC ボーリングを継続する予定。

- ・ Mt Rankin/Irwin Hills-Coglia Well JV(西オーストラリア州、Murrin Murrin JV 権益 60%)は、コバルトの品位上昇を目的としたパイロット・プラントでの冶金試験を継続中。西部地区でのボーリングを継続。
- ・ Mount Margaret(西オーストラリア州)、Weld Range(西オーストラリア州、権益 70%)は、探鉱実施せず。

出典) Quarterly Report 30 June 2007, 6 July 2007

11) Mincor Resources NL

(1) 財務状況

(百万 A\$)

	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
売上げ*	59.77	70.65	74.81	66.01	80.14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 月末決済分として 13 百万 A\$ の追加収入 (ニッケル価格の確定に伴う)。 ・ 現金・売り掛け金 77.38 百万 A\$ (GMM 社買収後) ・ GMM 社 (Otter Juan ニッケル鉱山含む) 買収を決定。
営業利益*2	29.84	38.25	41.75	36.66	44.93	
開発/探鉱費	4.29	3.76	8.14	4.50	6.48	

*1 Sales Revenue

*2 Operating Surplus

出典) Quarterly Report for the Period ended 30 June 2007
 Quarterly Report for the Period ended 31 March 2007
 Quarterly Report for the Period ended 31 December 2006
 Quarterly Report for the Period ended 30 September 2006
 Quarterly Report for the Period ended 31 June 2006

(2) 生産状況

(単位: 精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
ニッケル (t)	3,799.9	3,612.3	3,275.5	2,775.5	3,264.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精鉱中ニッケル金属純分量で、対前四半期比 17.6% 増加、対前年同期比 13.6% 減少。 ・ 2006/07 年度の年間生産量は、鉱石中ニッケル金属純分量で 12,927t となり、目標とした 12,500-13,500t に到達。
銅 (t)	324.0	321.7	312.4	239.6	301.0	
コバルト (t)	72.2	69.0	66.8	55.0	65.1	

出典) Quarterly Report for the Period ended 30 June 2007
 Quarterly Report for the Period ended 31 March 2007
 Quarterly Report for the Period ended 31 December 2006
 Quarterly Report for the Period ended 30 September 2006
 Quarterly Report for the Period ended 31 June 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ North Dordie 露天採掘ピット (Kambalda 地域) は、剥土を完了、初生鉱石の頂上部分が露出。379,00t の土砂を移動、1,300t の鉱石を採掘して貯鉱場に運搬、本格的な採掘は 9 月頃からの予定。
- ・ Carnilya Hill プロジェクト (Kambalda 地域、Mincor 権益 70%) は、採掘計画を見直し、資源量 483,500t・ニッケル 2.9%・精鉱中含有金属純分量 14,000t。投資額 28 百万 A\$。2008 年 1 月に生産開始予定、鉱石生産量は 15,000t/月 (ニッケル金属量 5,000t/月)。
- ・ McMahon プロジェクト (Kambalda 地域) は、7 月に GMM より取得。F/S 調査を優先的に実施。詳細設計とコスト調査を実施、資源量確認のボーリングを 6 月より開始。
- ・ Dunkin Deep プロジェクト (Kambalda 地域) は、詳細設計とコスト調査を実施、資源量確認のボーリングを 9 月より開始予定。

(探鉱)

- ・ Mariners No. 9 (Kambalda 地域) は、坑内ボーリングでを継続、ニッケル鉱化を捕捉 (幅 7.3m・Ni 5.9% など)。更にボーリングを継続。
- ・ North Miitel (Kambalda 地域) は、坑内ボーリングで North Miitel 鉱化の延長を確認 (幅 0.2m・Ni 9.7%、幅 4.8m・Ni 3.27% など)。鉱化は走向方向北側に延長。
- ・ Carnilya Hill プロジェクト (Kambalda 地域、権益 70%) は、ボーリングを継続、2 孔が完了。良好な結果 (幅 3.11m・Ni 3.66% など) は、鉱化帯が延長している可能性を強く示唆している。ボーリング孔を利用した EM 調査、フォローアップのためのボーリングを実施。
- ・ South Miitel プロジェクト (Kambalda 地域) は、ボーリング 2 孔実施 (幅 0.78m・Ni 4.21% などの結果を得る)。
- ・ Zone 29 East JV プロジェクト (Kambalda 地域、権益 70%) は、28 孔のボーリング結果を基に資源量 61,000t・Ni 3% と評価。資源量確認のボーリング (Diamond drilling) を実施、資源量の拡大を図る。
- ・ Dordie Far West プロジェクト (Kambalda 地域) は、土壌地化学探査異常と磁気異常に対してボーリングを実施、好結果 (幅 16m・Ni 1.11% などの結果を得る) のため、フォローアップ調査を計画。
- ・ Kambalda West JV プロジェクト (Kambalda 地域、権益 70% 取得中) は、Image Resources Ltd. との JV、空中磁気データ (公開データ) から磁気異常が超塩基性岩の分布を示唆する。Mincor 社は、既存データからボーリング地点を選定、RAB ボーリング 73 孔等 3,010m を実施 (幅 18m・Ni 1.84% などの結果を得る)。
- ・ Rav 8 JV プロジェクト (Kambalda 地域、権益 80% 取得中) は、Tectonic Resources NL 社との JV。コアボーリング 3 孔、RC ボーリング 3 孔、合計 1,784m を実施。
- ・ Tottenham 銅プロジェクト (ニューサウスウェルズ州) は、地表付近の酸化鉱化帯と深部の硫化物鉱化とを評価。ボーリングの進捗は機材、天候などの影響で遅くれている。32 孔総延長 2,053m が完了、更に 9 孔 650m を予定。
- ・ Tipperary 亜鉛プロジェクト (アイルランド、権益 85% 取得中) は層序を確認するためのボーリング (588m) が前四半期に完了。JV 相手は鉱区を走向方向に南西へ拡張申請中。
- ・ Georiana/Bonaparte 亜鉛・鉛プロジェクト (北部準州) は、先住権の交渉中。現地調査に先駆けて、全てのデータを検討中。
- ・ Gascoyne タングステン・プロジェクトは、先に実施した RC ボーリングの結果が芳しくなく、結果の見直しとコアボーリングを計画。

12) Newcrest Mining Limited

(1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 12 月末半期	2006 *1 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 *2 6 月末半期	コメント
総売上げ収入	696.0	708.1	768.4	937.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2007 年 6 月末までの 12 か月間の税引き後利益は、ヘッジにかかる費用 122.5 百万 A\$ が影響して、前年度比 45% 減少の 72.0 百万 A\$ となった。 ・ フィジー-Namosi プロジェクトの権益 65% 取得を取得する JV 契約に合意。
税引き後利益	74.2	275.3	37.0	35.0	
探鉱支出	25.1	16.6	19.7	27.5	

*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half Yearly Financial Report 31 December 2006, 27 February 2007
Financial Results 30 June 2007, 17 August 2007

(2) 生産状況

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
金 (oz)	401,742	379,701	384,285	390,096	463,170	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金は、対前四半期比 19% 増加、対前年度比 15.3% 増加で記録的な生産量となる。 ・ 銅は、対前四半期比 3% 増加、対前年度比 6.9% 減少。 ・ Cadia Hill 鉱山(ニューサウスウェルズ州)は、金生産量が採掘量増加と品位上昇により対前四半期比 4% 増加。 ・ Ridgeway 鉱山(ニューサウスウェルズ州)は、金生産量が品位と回収率の改善、鉱石処理量の増加により対前四半期比 10% 増加。銅は品位と回収率の低下により僅かに減少。 ・ Telfer 鉱山(西オーストラリア州)は、金生産量が露天採掘では品位の 16% 向上と回収率の 10% 向上により対前四半期比 29% 増加、坑内採掘は 3 月の大雨が影響して 7% 減少したが、品位が 5% 向上したことで一部相殺。銅生産量は対前四半期比 5% 増加と堅調。 ・ Goswong 金鉱山(権益 82.5%、インドネシア)は、坑内採掘の品位の改善により対前四半期比 29% 増加。 ・ Cracow 金鉱山(権益 70%、クィーンズランド州)は、品位と回収率の低下により対前四半期比 16% 減少。
金品位 (g/t)	1.41	1.24	1.28	1.34	1.59	
コスト (A\$/oz)*	245	219	384	283	230	
銅 (t)	23,835	23,101	22,023	21,628	22,188	
銅品位 (%)	0.27	0.26	0.25	0.25	0.26	

* Group Cash Cost

出典) Quarterly Report for the three months ending 30 June 2007
Quarterly Report for the three months ending 31 March 2007
Quarterly Report for the three months ending 31 December 2006
Quarterly Report for the three months ending 30 September 2006
Quarterly Report for the three months ending 30 June 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Cadia East 鉱床の斜坑開発は 475m(前四半期 668m)掘進し、2005 年 5 月の開発開始から 3.7km に達した(総延長 6.7km で 2008 年末完成予定)。鉱体へのアクセスに必要な坑道掘削総延長は約 6,700m、2008 年 12 月末四半期に完了予定。地下の鉱体へのアクセスに関する詳細計画の検討。露天採掘のプレ F/S 調査は 2007 年 9 月末四半期に完了見込み。
- ・ Ridgeway Deeps 鉱山は、開発の承認を得た。初期投資額は、既存のサブレベルケーシングの下部をブロックケーシングによる採掘に切り替える費用も含めて 545 百万 A\$。坑内に 2 基のクラッシャーを新設。生産量は 12 年間で、金 1.6 百万 oz・銅 210,000t を予定。当初 8 年間の採掘量は 5.6 百万 t/年、2010 年までの 2 年間でフル稼働に達する計画。ブロックケーシングのための斜坑は 693m 掘進。これまでに 2,843m を掘進。
- ・ Gosowong District JV は、既存 Kencana 坑内採掘への延長のための最適な戦略を策定するためのプレ F/S 調査を開始。
- ・ Telfer 鉱山は、複数の調査を実施。調査は、低コストの坑内採掘法、露天採掘における低コストのハンドリング、原位置での金属生産などに集中して実施。9 月末四半期には完了の見込み。
- ・ Namosi JV プロジェクト(フィジー)は、日鉄鉱業、三菱マテリアルへ、4~5.5 年間の探鉱費を支出し、プロジェクトの管理を行い、65%の権益を取得することで合意。

(探鉱)

- ・ Marsden(ニューサウスウェルズ州)は、資源量を評価するための広い間隔でのボーリングを実施、ポーフィリータイプの銅-金鉱化作用。
- ・ Cracow JV は、資源量評価のためのボーリング完了。断層中に胚胎する金鉱化の延長を中心に探査中。
- ・ Gosowong District JV は、資源量確定のためのボーリングのほか、金鉱化を胚胎する構造の特定に集中して探鉱中。

出典) Quarterly Report for the three months ending 31 March 2007, 30 April 2007

13) Oxiana Limited

(1) 財務状況

(単位：千 A\$)

	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
総売上げ収入	344,966	685,204	799,450	632,472	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総売上げ収入は、対前年度同期比 7.7%、対前期比 20.1%減少。亜鉛価格の高騰、亜鉛・銅精鉱販売増加を、オーストラリア・ドル高と、金の販売量の低下が相殺するなどが売上げ減少の原因。 ・ 税引き後利益は、対前年度同期比 34.1%、対前期比 40.1%減少。ラオスの税率上昇などが影響。 ・ ラオス政府が Sepon プロジェクト (Lane Xang Minerals Limited) の権益 10%取得に署名 (2007 年 6 月 30 日)。
税引き後利益	63,014	263,232	289,934	173,451	
探鉱支出	6,486	10,167	10,655	17,975	

*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Financial results Summary for the twelve months ended 30 June 2007, 27 August 2007

Financial results Summary for the twelve months ended 31 December 2006, 22 February 2007

Financial results Summary for the twelve months ended 31 December 2006 – Presentation, 22 February 2007

Financial results Summary for the six months ended 30 September 2006, 25 August 2006

(2) 生産状況

(単位：精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
銅 (t) *1	17,395	20,073	17,181	21,124	21,002	<ul style="list-style-type: none"> ・ Sepon Copper 鉱山 (ラオス) の銅生産は、対前四半期比 17.7%増加の 16,271t と堅調。5 月に 5 日間の計画メンテナンスを実施。 ・ Sepon Gold 鉱山 (ラオス) の金生産は、探掘が大雨の影響で低調だったが回復。品位が低下 (1.36g/t) したことから、対前四半期比 23.3%減少の 25,791oz となった。 ・ Golden Grove 鉱山 (西オーストラリア州) の亜鉛生産は、選鉱所の操業が良好、亜鉛の回収率も僅かに向上したことから、対前四半期比 49.6%増加の 36,675t となった。
金 (oz) *1	47,674	58,829	56,456	46,398	41,410	
亜鉛 (t)	31,300	21,482	46,605	24,514	36,675	
銀 (oz) *3	498,499	580,925	1,092,364	571,692	906,434	

*1 地金生産量

*2 地金生産量+精鉱中の金属純分量：Sepon Gold 鉱山は地金、Gorden Grove 鉱山は精鉱中の含有金属量

出典) Quarterly report for the three months ending 30 June 2007, 18 July 2007

Quarterly report for the three months ending 31 March 2007, 19 April 2007

Quarterly report for the three months ending 31 December 2006, 29 January 2007

Quarterly report for the three months ending 30 September 2006, 24 October 2006

Quarterly report for the three months ending 30 June 2006, 20 July 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Sepon Copper 鉱山は、拡張のための F/S 調査を継続中。Thengkham 鉱床での資源量確認のボーリングは完了。銅生産能力増強のために 2 基目のオーソクレーブは 2009 年第 1 四半期に稼働予定。
- ・ Sepon Gold 鉱山は、初生金鉱(Primary Gold)の F/S 調査として資源量モデル・エンジニアリング検討を実施中、2007 年末には完了予定。
- ・ Prominent Hill 鉱山開発は、露天採掘ピットの予備的な剥土は予定よりも早い進捗、9 月末四半期には深さ 63m に到達する見込み。精鉱は鉄道(Adelaide-Darwin 線)を利用して、Darwin 港を経由して、アジア(中国、韓国、フィリピン等)へ輸出される。
- ・ Martabe 金プロジェクト(インドネシア)は、技術的なレビューと F/S 調査を実施中。資源量評価、選鉱方法の検討、エンジニアリング設計等を実施中。

(探鉱)

- ・ Sepon Copper 鉱山では、Thengkham North、Thengkham South 鉱床でボーリング機 6 台による探鉱実施、幅 16m・Cu 7.9%、14m・Cu 6.0%、41m・Cu 10.6%などの好結果を得る。Pha Bing 地区での資源量確認ボーリングでは幅 38m・Cu 8.1%などの好結果を得た。
- ・ Sepon Gold 鉱山では、Nalou 露天採掘ピット周辺の資源量確認のボーリングで、より浅所の酸化金鉱化の範囲を確認。初生金鉱化の資源量評価は、データ検討・地質モデルを中心に実施。Discovery と Luang 鉱床との間で高品位鉱化を確認(幅 5m・10.8g/t など)。
- ・ Golden Grove 鉱山では、Xantho 鉱床、Scuddles 鉱床でボーリングを実施、良好な結果を得る(Xantho 鉱床：29.4m・Zn 19.5%・Cu 1.6%、Scuddles 鉱床：11.1m・Zn 11.7%など)。
- ・ Prominent Hill 鉱床では、鉱量獲得のためのボーリングを実施中。高品位銅・金鉱化、Prominent Hill せん断帯下盤に低品位金鉱化を確認。IOCG タイプの鉱化の評価を行い、深部と西側への延長を検討。深度 1,073m・幅 31m・Cu 3.6%、1,018m・幅 86m・Cu 1.7%などの結果を得る。
- ・ 広域的な探査として、Minotaur 社-JV(事業提携)と Mt. Isa 地域で EM 調査など高品位金鉱化を含む鉱床探査を実施。
- ・ Woolgar-JV(70%取得中、クィーンズランド州)は、浅熱水性鉱化を対象にボーリング 4 孔を実施、鉱化変質と石英脈、断層帯を捕捉、継続中。
- ・ Warroo-JV(80%取得中、クィーンズランド州)は、RC ボーリング 5 孔を実施、鉱化変質と石英脈を捕捉、分析結果待ち。
- ・ ラオスでは、AngloGold Ashanti 社との JV で、Truongson、Luang Prabang 帯を中心に予備サンプリングを実施。川砂地化学異常から石英脈・石英-赤鉄鉱ストックワークの鉱徴を特定。
- ・ タイでは、Thai Golds JV(権益 75%取得中)で、Chatree 地域において浅熱水性鉱脈鉱化を確認するボーリングを継続中。
- ・ 中国では、Rexing 火山性塊状硫化物鉱床 JV(権益 80%取得中)を実施中。四川省を中心に火山性塊状硫化物鉱床プロジェクトを形成するために Henghao Group と MOU を締結。
- ・ カンボジアでは、Shin Ha JV(権益 80%)で Okvau 地域の構造解析により、有望地域を抽出。Phnom Chi 地区の高品位金鉱脈の深部延長を確認するためのボーリングを開始。鉱脈が 850m

以上続いており、ボーリング調査を継続。

- ・ インドネシアでは、Kalimantan JV(権益 66.67%取得中)で Beruang 地区において、ポーフィリー銅・金鉱化を対象にボーリングを実施、幅 44m・Cu 0.6%などの結果を得る。

出典) Quarterly report for the three months ending 30 June 2007, 18 July 2007

14) Perilya Limited

(1) 財務状況

(単位：百万A\$)

	2005 12月末半期	2006 *1 6月末半期		2006 12月末半期		2007*2 6月末半期		コメント
売上げ	123.4	221.4		261.4		125.5		<ul style="list-style-type: none"> ・売上げは、前年度比 12%増加の 386.9 百万 A\$、税引き前利益は前年度比 14%増加の 151.5 百万 A\$。 ・税引き後純利益は、前年度比 23%増加の 82.5 百万 A\$ ・2007 年 1 月に発生した人身事故とその後の開発の遅れが操業に影響したが、金属価格が高騰により利益を確保できたことが堅調な業績の要因。
税引き後利益	16.9	50.1		76.1		6.3		
探鉱費 *3	N. D.	0.6	1.6	2.2	5.6	2.7	4.7	

*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*3 四半期毎の探鉱支出

出典) Preliminary Final Report for the Financial Year ended 30 June 2007, 28 August 2007
 Quarterly report for the three months ended 30 June 2007, 19 July 2007
 Interim Financial Report for the Half Year ended 31 December 2006, 14 February 2007
 Quarterly report for the three months ended 31 December 2006, 30 January 2007
 Quarterly report for the three months ended 30 September 2006, 24 October 2006
 Quarterly report for the three months ended 30 June 2006, 18 July 2006
 Quarterly report for the three months ended 31 March 2006, 27 April 2006

(2) 生産状況

(単位：精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
亜鉛 (kt)	36.7	30.2	28	11.8	22.0	<ul style="list-style-type: none"> ・Broken Hill 鉱山(ニューサウスウェルズ州)は、2007 年 1 月 9 日、坑内で死亡事故発生。 ・その影響で亜鉛は対前期比 57.9%減少、鉛は同 49.7%減少、銀は 51.2%減少。
鉛 (kt)	20.9	20.6	16.9	8.5	14.5	
銀 (Moz)	0.538	0.578	0.46	0.225	0.415	<ul style="list-style-type: none"> ・Daisy Milano 鉱山(西オーストラリア州)は、金生産量 3,673oz・品位 7.3g/t。採掘作業は資本引上げのため 2007 年 3 月から採掘停止。
金 (oz) *1	6,465	9,452	-	11,654	3,673	

*1 地金生産量

出典) Quarterly report for the three months ended 30 June 2007, 19 July 2007
 Quarterly report for the three months ended 31 March 2007, 18 April 2007
 Quarterly report for the three months ended 31 December 2006, 30 January 2007
 Quarterly report for the three months ended 30 September 2006, 24 October 2006
 Quarterly report for the three months ended 30 June 2006, 18 July 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Potosi 鉱床(Broken Hill 鉱山地区)の探鉱斜坑は、178m 掘削して坑口から 448m に到達。最初の換気系が 5 月に完成。、9 月四半期には最初の鉱石が Broken Hill 鉱山の精鉱として出荷される見込み。資源量拡大のためのボーリング調査を開始(現時点での資源量は 1.6 百万)。
- ・ Flying Doctor 鉱床は、資源量が 96%増加して 520,000t・Zn 5.4%・Pb 7.1%・Ag 72g/t とな

る。露天採掘を検討。資源量確認のボーリングを継続。

- ・ Flinders 鉱山(南オーストラリア州)は、第1フェーズ(Beltana 露天採掘)では12か月間の採掘とその場での鉱石破碎を計画。高品位鉱石はそのまま Port Pirie を経由してアジア向けに輸出される予定。年間生産量(含有金属純分)15,000t から 20,000t に増加の予定。6月末までに10,544t の高品位鉱石を採掘。高品位鉱石 150,000t を 2008 年初旬まで採掘する。中品位鉱石(Zn 30%)を含めると生産量は 392,000t に達する。出荷開始は 2007 年 12 月末四半期。

(探鉱)

- ・ North Mine Deeps 鉱床のプレFS調査が完了、結果を検討中、9月末四半期には次のフェーズに進むかが決定される予定。
- ・ Mount Oxide 銅プロジェクト(クィーンズランド州)は、ボーリング 50 孔・総延長 112,000m を計画、7 孔が完了。

出典) Quarterly report for the three months ended 30 June 2007, 19 July 2007

15) Sally Malay Mining Limited

(1) 財務状況

(百万 A\$)

	2005 12 月末半期	2006 *1 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 *2 6 月末半期	コメント
総収入	101.2	141.1	266.4	35.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2007 年 6 月末までの 12 か月間の総収入は、対前年度比 125%増加の 302.2 百万 A\$、税引き前利益 (EBITDA) は対前年度比 179%増加の 166.5 百万 A\$。 ・ 税引き後純利益は、対前年度比 453%増加の 88.1 百万 A\$。 ・ 堅調な操業とニッケル価格高騰が好業績の要因
税引き後利益	7.6	8.3	32.7	55.4	
探鉱費	0.75	▲0.97	0.55	1.3	

*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) 2006/07 Full year Results, 29 August 2007

Half-Year for the Period ended 31 December 2006, February 28, 2007

Half-Year for the Period ended 31 December 2005, March 16 2006

(2) 生産状況

(単位：精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
ニッケル (dmt) *1	1,584 909	1,920 9542	2,330 1099	1,810 862	1,950 997.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ Sally Malay 鉱山のニッケル生産量は、対前四半期比 7.7%増加、対前年同期比 23.1%増加。積出し量は対前四半期比 70%増加の 2,247t であった。 ・ Lanfranchi JV のニッケル生産量 (JV100%ベース) は、対前四半期比 15.8%増加、対前年同期比 9.7%増加の 1,330t であった。
銅 (dmt) *2	675	842	1,039	921	886	
コバルト (dmt) *2	104	102	123	101	105	

*1 Sally Malay 鉱山(上段)、Lanfranchi プロジェクト 75%(下段)

*2 Sally Malay 鉱山

出典) Quarterly Report for the Period ended 30 June 2007, 31 July 2007

Quarterly Report for the Period ended 31 March 2007, 30 April 2007

Quarterly Report for the Period ended 30 June 2006, 31 January 2006

Quarterly Report for the Period ended 30 September, 30 October 2006

Quarterly Report for the Period ended 30 June 2006, 28 July 2006

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- ・ Sally Malay のペースト・プラント建設は、2007 年 12 月の運転開始に向けて順調な進捗。ペースト充填により採掘の柔軟性が向上、鉱柱の採掘(埋蔵量の増加)、ズリ処分などの問題が解決できる。
- ・ Lanfranchi JV では、Winner 斜坑建設中、深部の風化帯に入ったため掘削が遅れていたが、5 月には岩盤の状態も改善して予算内の進捗。2007 年 12 月には鉱石の搬出が可能となる予定。

(探鉱)

- ・ Sally Malay プロジェクトは、100-500Fault の間で資源量確認のボーリングが終了、最新データを元に 3 次元の資源量ブロックモデルを作成中。鉱山下部の Sally Malay 貫入岩へのボー

リングを継続、塊状硫化物鉱化を捕捉。

- ・ Panton PGM プロジェクト (Platinum Australia 100%、Sally Malay 50%取得中)は、バルク・サンプルの試験と分析を継続中。
- ・ Copernicus JV (Sally Malay 60%)では、F/S 調査が最終段階 (埋蔵量 784,000t・Ni 1.1%・露天採掘及び坑内採掘、採掘期間 4 年、2008 年第 2 四半期に生産開始予定)、探鉱は EM 異常へのボーリングが終了、全てのボーリングで 1-13m の鉱化を捕捉。
- ・ Melon Patch プロジェクト (Sally Malay 70%取得中)は、5 月に地表での EM 異常地点の確認と土壌サンプリングを完了。土壌地化学異常地区での地表調査を第 3 四半期で実施する予定。
- ・ Lanfranchi JV (Sally Malay 75%)は、Deacon 地区でのボーリング 11 孔 2,030m を実施。顕著な鉱化は認められなかった。詳細検討が必要。Schmitz 地区では、ボーリング孔による EM を上盤がわから実施、Schmitz 鉱体が延長していることを確認。Lanfranchi 地区では、更に垂直 100m 深部の鉱床評価のためのボーリングを開始、40-60 孔。総延長 5,000m 程度のボーリングを予定。これまでに 26 孔・総延長 2,437m のボーリングを実施、幅 24.10m・Ni 5.37%などの好結果を得ている。Northern Tramways では、チャンネル構造への地表からのボーリングを実施、更に、17-20 孔・8,000-9,000m のボーリングを予定。

出典) Quarterly Report for the Period ended 30June 2007, 31 July 2007

16) Zinifex Limited

(1) 財務状況

(百万 A\$)

	2005 12 月末半期	2006 *1 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 *2 6 月末半期	コメント
収入	1,133.4	1,929.3	2,237.9	2,370.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2007 年 6 月末までの 12 か月間の収入は、対前年度比 34.2% 増加の 1,929.2 百万 A\$、税引き前利益は対前年度比 43.9% 増加の 1,167.5 百万 A\$。 ・ 税引き後純利益は、対前年度比 23.6% 増加の 1,334.8 百万 A\$。 ・ Rosebery 亜鉛・鉛・銅鉱山、Hobart 亜鉛製錬所(ともにタスマニア州)での堅調な操業が好業績の要因。
税引き後利益	227.6	852.3	751.2	583.6	
探鉱費	3.6	8.2	9.8	18.6	

*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Financial Report for the year ended 30 June 2007, 27 August 2007

Financial Report for the Six months ended 31 December 2006, 22 February 2007

(2) 生産状況

(鉱山生産は金属純分量)

鉱種	2006 2/四	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	コメント
亜鉛 ^{*1} (鉱山生産) (t)	151,188	135,682	143,116	142,525	163,654	<ul style="list-style-type: none"> Century 鉱山(クィーンズランド州)の亜鉛生産^{*1}は、選鉱所能力改善と堅調な操業により、対前四半期比15%増加、対前年同期比8%増加の140,505t。 Rosebery 亜鉛・鉛鉱山(タスマニア州)の亜鉛生産^{*1}は、鉱石品位の改善と堅調な操業により、対前四半期比16%増加、対前年同期比9%増加の23,149tであった。
鉛 ^{*2} (鉱山生産) (t)	22,167	18,913	14,565	15,070	12,787	<ul style="list-style-type: none"> Century 亜鉛・鉛鉱山の鉛生産^{*1}は、サイクロン Nelson の影響で貯鉱が増加したため、対前四半期比28.8%減少、対前年同期比59%減少の5,500t。 Rosebery 亜鉛・鉛鉱山の鉛生産量^{*1}は、採掘量の増加を品位低下が一部相殺したことにより、対前四半期比10%増加、対前年同期比2%増加の23,490t。
亜鉛(金属) (t)	155,010	160,422	157,527	159,029	158,102	<ul style="list-style-type: none"> Hobart 製錬所(タスマニア州)は、亜鉛生産は好調で対前四半期比8%増加、対前年同期比17%増加の64,944t。 Budel 精錬所(オランダ)の生産は、ロースターの修理を実施、生産量は対前四半期比15%減少の50,011t。 Clarksville 精錬所(米国)は、対前四半期比10%増加、対前年同期比10%増加の33,642tであった。 Port Pirie 精錬所(南オーストラリア州)は、対前四期比、対前年同期比とも同水準の9,505t。
鉛(金属) (t)	67,547	28,233	63,402	51,702	64,123	<ul style="list-style-type: none"> Port Pirie 製錬所は、通常の生産状況に戻り、対前四期比28%増加、対前年同期比4.3%減少の60,089t。
合計	396,612	343,250	378,609	368,326	398,666	-

*1 亜鉛精鉱中の亜鉛金属純分量

*2 鉛精鉱中の鉛金属純分量

出典) Zinifex Limited Quarterly Review Quarter ended 30 June 2007, 27 July 2007

Zinifex Limited Quarterly Review Quarter ended 31 March 2007, 26 April 2007

(3) 探鉱・開発状況

(開発)

- Dugald River 亜鉛・鉛プロジェクト(クィーンズランド州)では、キャンプの設計・準備が完了、建設許可を待っている状態。粉碎・選鉱等のプロセス最適化の冶金試験のためボーリングを継続中。プラント、インフラストラクチャ、調達等、設計オプションの検討を開始。
- Nunabut プロジェクト(カナダ)では、土地・環境影響評価手続きを開始。完了までに2年間を要する予定。

(探鉱 鉱山周辺)

- Century 亜鉛・鉛鉱山では、Tunnel Hill、Page's Creek、Southern Cross 地区でボーリング実施。Silver King 地区で総延長3,225mのボーリング実施、鉱化モデルを検討中。

- ・ Rosebery 亜鉛・鉛鉱山では、資源量を 65%増加の 11.7 百万 t に増加、埋蔵量は 3.8 百万 t となり、前年同期の 50%増加となった。総延長 8,000m のボーリングを 6 月末までに完了、30m・Zn 19.3%などの好結果を得た。

(探鉱 オーストラリア国内)

- ・ Georgetown(クィーンズランド州)での Broken Hill タイプのベースメタル探鉱(Drake 社との JV)への Zinifex 社単独による探鉱費支出を決定。
- ・ Menninnie Dam 地域(南オーストラリア州)は、IP 異常へのボーリングを再開。Menninnie Central 地区では、弱い方鉛鉱・閃亜鉛鉱の鉱化を 6 孔のボーリング中 5 孔で確認。鉱化の連続性を確認するためボーリング 2 孔を追加実施、9 月までに資源量を評価する予定。

(探鉱 海外等)

- ・ カナダでは、Izok Lake 地域ではベースキャンプの再設営が近日中に完了予定。探査の拡張に伴い地質調査スタッフを追加募集。Izok-Gondor 鉱区で Izok Lake と同様の塊状硫化物鉱床を対象とした空中磁気及び電磁気探査を実施予定。High Lake 地区にボーリング機 2 台を移動、9 月には総延長 5,000m 規模のボーリング調査を予定。Izok Lake 地区にボーリング機 2 台を移動、9 月には総延長 4,000m 規模のボーリング調査を予定。
- ・ チュニジアでは、Nefza プロジェクト地区で物理探査異常・地化学異常を特定、5 か所で 8,000-10,000m のコア・ボーリングを 7 月から開始予定。Trozza、Touila 亜鉛鉱徴地を含む Haffouz 鉱区(428km²)は、3 年間で 1.5 百万 US\$を支出することで許可を取得。IP 探査を 8 月に実施し、その後、ボーリングを行う計画。
- ・ スウェーデンでは、Berso 地区の 3 年間の探鉱許可を取得。更に、旧 Falun 銅鉱山北部を含む 2 鉱区を申請中。Drake Resources 社との JV では Zinifex 社として 3 鉱区を取得(Bergslagen 地域の Falun、Jugansbo A、Jugansbo B、Svardsjo 地区付近の Svardsjo 地区周辺)。詳細空中磁気探査は、Falun 地区が終了、Doversdorp、Bersob 地区で開始。
- ・ メキシコ・CorazonadaJV プロジェクトは、近日中に契約完了の予定。現地ベースの地質コンサルタントをプロジェクト管理に選定済み。

出典) Zinifex Limited Quarterly Review Quarter ended 30 June 2007, 27 July 2007

2. 中国企業

銅地金生産企業

(単位：t)

企業名	2006												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-12月計
江西銅業集团公司 (Jiangxi Copper Co Ltd.)	34,667	39,997	36,425	40,399	38,780	38,624	37,120	37,576	32,793	34,393	36,589	36,078	443,441
銅陵有色金屬(集團)公司 (Tongling Nonferrous Metals (Group) Inc.)	43,425	40,847	53,273	46,540	47,015	49,090	39,695	46,812	45,468	46,387	46,069	43,905	548,526
雲南銅業(集團)有限公司 (Yunnan Copper Industrial Corp. Ltd.)	19,823	39,865	19,401	25,499	32,695	32,095	32,639	32,924	32,472	33,413	31,354	27,920	360,100
大冶有色金屬公司 (Daye Nonferrous Metals Co.)	18,416	15,693	16,655	16,689	17,431	17,865	17,751	17,386	16,881	18,033	16,259	15,499	204,558
金川集團有限公司 (Jinchuan Group Ltd.)	15,500	16,500	15,000	17,000	16,500	17,000	16,500	17,000	16,500	17,000	17,000	23,879	147,500

(注)1-12月計は、安泰科の12月の資料を基にしているため、各月の合計とは異なる場合がある。

企業名	2007							1-6月期
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	1-6月計 (注)	07/06
江西銅業集团公司 (Jiangxi Copper Co Ltd.)	37,100	40,300	36,800	40,800	41,000	47,474	243,474	6.37%
銅陵有色金屬(集團)公司 (Tongling Nonferrous Metals (Group) Inc.)	46,300	41,400	43,700	45,500	46,900	51,300	275,100	-1.82%
雲南銅業(集團)有限公司 (Yunnan Copper Industrial Corp. Ltd.)	27,700	29,800	32,900	32,200	37,100	34,700	194,400	14.77%
大冶有色金屬公司 (Daye Nonferrous Metals Co.)	12,800	16,400	16,400	21,000	23,200	21,500	111,300	8.32%
金川集團有限公司 (Jinchuan Group Ltd.)	20,500	21,400	21,500	37,838	21,000	19,200	141,438	45.06%

出典：安泰科

亜鉛地金生産企業

※亜鉛については国家統計局の企業別データが2007年から未公表のためデータ未入手

V. 主要国、主要鉱山の生産統計

1. 主要国の生産統計

(1)-1 チリの銅生産量

(単位：t、金属純分)

	2006												年計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
銅生産量	418,929	390,125	440,412	442,641	458,521	453,046	458,214	411,847	392,130	490,348	477,054	541,333	5,374,600
電解銅	188,827	169,181	190,127	179,896	187,554	182,290	191,792	183,747	182,735	202,663	193,288	213,500	2,265,600
精鉱	237,534	213,367	231,789	228,853	232,979	240,343	231,499	195,074	175,799	251,562	244,975	273,226	2,757,000
その他	4,638	7,577	18,496	21,822	37,988	30,413	34,293	33,026	33,596	36,123	38,791	55,237	352,000

※年計は、チリ統計局発表の数字を入れているので、合計額の数字と異なる場合がある。

	2007							1~6月計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
銅生産量	437,453	390,870	442,410	459,017	479,049	460,297	2,740,139	
電解銅	205,389	191,594	215,661	211,855	212,790	198,706	1,247,413	
精鉱	223,636	195,296	253,651	216,052	237,380	23,336	1,359,427	
その他	8,428	3,980	32,794	31,110	28,879	28,255	127,814	

出典：チリ統計局

※1~6月計は、チリ統計局発表の数字を入れているので、合計額の数字と異なる。

(1)-2 チリの銅輸出額

(単位：百万\$)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
1996	479.9	512.0	524.0	512.4	585.6	537.5	579.9	415.1	427.3	479.9	469.6	505.4	6,028.6
1997	618.2	611.6	658.5	615.6	551.9	591.0	505.2	473.6	512.0	578.2	470.2	460.6	6,646.6
1998	381.8	454.7	516.0	408.9	438.6	470.3	474.1	432.1	408.0	378.8	409.0	425.1	5,197.4
1999	433.7	400.3	422.4	530.8	506.0	531.3	453.6	477.8	594.2	544.6	548.1	583.6	6,026.4
2000	577.7	527.1	711.0	437.5	723.0	545.7	678.1	691.5	552.1	701.4	545.5	594.1	7,284.5
2001	672.4	564.6	530.7	593.6	576.9	507.1	495.0	628.6	433.9	571.5	484.8	477.6	6,536.5
2002	583.7	500.0	511.8	549.5	518.4	655.5	471.5	462.9	398.9	609.3	567.6	494.1	6,323.2
2003	702.7	559.2	510.5	594.4	574.0	630.5	639.1	675.1	606.7	788.8	763.8	770.5	7,815.5
2004	835.8	897.3	1,398.6	1,224.9	1,387.6	1,007.3	1,213.1	1,384.1	1,003.1	1,472.1	1,034.7	1,624.1	14,482.6
2005	1,251.1	1,027.8	1,689.5	1,375.9	1,263.5	1,648.8	1,435.8	1,660.6	1,654.1	1,592.6	1,865.5	1,840.4	18,305.6
2006	1,947.3	2,016.9	3,382.8	2,478.4	3,435.6	2,857.2	3,331.0	2,890.9	3,115.0	2,940.0	2,790.0	2,150.0	33,340.0
2007	3,041.3	2,260.0	2,730.0	3,282.0	4,277.0	2,939.0							18,529.3

出典：チリ中央銀行

(1)-3 チリのモリブデン輸出額

(単位：百万\$)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
1996	26.0	20.1	16.5	20.7	16.1	18.9	20.8	17.3	17.8	16.5	16.8	16.1	223.6
1997	18.7	16.0	16.8	17.1	15.5	19.8	21.7	23.2	18.0	24.0	21.6	19.7	232.3
1998	17.7	18.5	22.3	13.9	18.7	19.0	15.2	16.4	16.5	19.2	11.3	14.7	203.5
1999	17.5	11.8	17.9	12.1	14.6	10.6	16.8	11.4	13.6	14.5	14.2	12.1	167.2
2000	16.6	14.0	16.7	11.4	14.5	11.8	15.6	18.2	12.2	18.1	14.9	14.8	178.7
2001	18.1	7.6	13.5	12.9	15.2	15.9	14.6	19.4	8.8	21.0	14.1	13.5	174.6
2002	18.5	12.6	20.3	19.1	18.3	23.6	26.1	25.3	23.0	27.1	17.0	14.8	245.8
2003	26.1	15.2	24.9	26.8	21.8	24.7	23.8	23.8	33.7	47.6	45.0	39.6	352.8
2004	69.1	52.7	73.9	63.8	102.7	89.5	153.9	135.3	152.2	152.2	220.4	170.6	1,436.2
2005	221.2	191.0	311.6	310.1	274.0	354.5	353.4	255.6	218.6	270.7	273.6	238.7	3,272.9
2006	284.1	116.8	350.1	192.7	202.3	203.6	240.2	282.1	208.8	258.0	209.2	222.7	2,770.6
2007	259.1	250.0	450.0	256.0	325.0	329.0							1,869.1

出典：チリ中央銀行

(2) ペルーの鉱産物生産量

(単位：t)

鉱産物	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	前年 同期比
銅	254,284	255,794	281,613	255,663	287,823	+13.2%
金	53.07	49.939	46,698	52.965	38,814	-26.9%
亜鉛	297,320	312,567	318,838	273,756	375,711	+26.4%
鉛	76,243	81,349	84,173	73,963	78,393	+2.8%
銀	861.19	856.07	921.31	806.435	822,743	-4.5%
錫	10,018	8,661	9,327	10,046	9,455	-5.6%
モリブデン	3,922	4,166	4,640	4,482	3,711	-5.4%

出典：ペルーエネルギー鉱山省

(3) ボリビアの鉱産物生産量

(単位：t)

鉱産物	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期	2007年 上半期	前年 同期比
亜鉛	82,906	85,365	87,382	88,399	+3.6%
錫	9,590	9,244	8,495	7,766	-16.0%
銀	217	253	219	206	-18.6%

出典：ボリビア鉱業冶金省

(4) メキシコの鉱産物生産量

鉱種	2006年												年計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
金(kg)	2,349	2,365	2,710	1,788	1,832	3,591	3,314	3,656	3,868	2,957	3,318	4,150	35,898
銀(kg)	198,292	206,721	228,354	194,536	226,098	180,731	258,664	169,576	219,551	144,095	180,712	205,779	2,413,109
銅(t)	30,897	29,499	33,160	27,882	28,317	19,277	19,600	19,957	25,169	29,718	33,549	30,517	327,542
鉛(t)	10,120	12,119	8,611	10,652	10,428	12,936	12,551	7,748	9,396	8,730	7,514	9,640	120,445
亜鉛(t)	31,410	38,801	34,757	37,983	36,207	36,650	40,930	37,204	36,468	33,548	31,615	36,758	432,331

鉱種	2007年/p						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	1~6月計
金(kg)	3,853	2,274	3,495	2,756	3,414	2,865	18,657
銀(kg)	209,198	153,594	206,620	137,382	221,009	225,580	1,153,383
銅(t)	30,712	31,210	34,656	32,887	32,034	28,869	190,368
鉛(t)	8,804	8,156	10,200	4,725	11,071	5,838	48,794
亜鉛(t)	36,875	37,831	35,904	35,659	33,649	34,296	214,214

出典：メキシコ国立統計地理情報院 注)p：速報値

(5) オーストラリアの生産量

鉱種	2006 第2四半期	2006 第3四半期	2006 第4四半期	2007 第1四半期	2007 第2四半期	前期比(%)	前年同期比(%)
銅(千t)							
ニューサウスウェルズ州	53	52	53	46	45	-2.17	-15.09
クィーンズランド州	96	82	85	95	86	-9.47	-10.42
西オーストラリア州	22	31	24	27	26	-3.7	18.18
南オーストラリア州	55	42	40	54	54	0	-1.8
タスマニア州	8	8	7	7	7	0	-12.5
オーストラリア全体	233	215	209	228	219	-3.95	-6
亜鉛(千t)							
ニューサウスウェルズ州	44	42	45	27	33	22.2	-25
クィーンズランド州	212	203	204	212	224	5.66	5.66
西オーストラリア州	32	22	48	25	56	124	75
タスマニア州	23	22	20	25	29	16	26.09
北部準州	30	34	36	35	36	2.86	20
オーストラリア全体	340	324	352	324	378	16.67	11.18
鉛(千t)							
ニューサウスウェルズ州	26	28	27	16	20	25	-23.07
クィーンズランド州	115	106	85	112	112	0	-2.6
西オーストラリア州	17	19	24	23	9	-60.87	-47.06
タスマニア州	6	7	7	7	8	14.29	33.33
北部準州	6	7	9	8	8	0	33.33
オーストラリア全体	169	167	152	166	157	-5.42	-7.1
ニッケル(千t)							
西オーストラリア州	45	47	51	48	46	-4.17	2.22
オーストラリア全体	45	47	50	48	46	-4.17	2.22
金(t)							
ニューサウスウェルズ州	7	7	8	9	9	0	28.57
ビクトリア州	1	1	2	2	1	-50	0
クィーンズランド州	5	6	5	5	5	0	0
西オーストラリア州	41	41	43	38	39	2.63	-4.99
タスマニア州	1	1	1	1	2	100	100
南オーストラリア州	2	2	1	1	1	0	-50
北部準州	3	3	4	4	5	25	66.67
オーストラリア全体	60	62	65	61	63	3.28	5
ウラン(t)							
南オーストラリア州	887	868	893	935	1,001	7.06	12.85
北部準州	505	935	1,409	853	1,264	48.18	150.3
オーストラリア全体	1,392	1,804	2,302	1,788	2,264	26.62	62.64
ボーキサイト(千t)							
クィーンズランド州	3,855	4,085	4,487	4,272	4,125	-3.44	7
西オーストラリア州	10,215	10,738	10,290	10,500	10,409	-0.87	1.9
北部準州	1,300	1,162	1,538	1,743	1,087	-37.64	-16.38
オーストラリア全体	15,370	15,986	16,315	16,515	15,621	-5.41	1.63
鉄鉱石(千t)							
西オーストラリア州	68,617	70,835	70,804	65,505	73,973	12.93	7.81
南オーストラリア州	873	1,078	1,150	1,189	1,282	7.82	46.85
タスマニア州	405	175	537	602	524	-12.96	29.38
オーストラリア全体	69,894	72,088	72,491	67,296	75,778	12.6	8.42
石炭(black coal, raw)(百万t)							
ニューサウスウェルズ州	41.50	43.50	41.05	40.00	43.11	7.78	3.88
クィーンズランド州	57.86	57.44	57.00	58.00	61.04	5.24	5.5
西オーストラリア州	1.58	1.58	1.58	1.60	1.64	2.5	3.8
南オーストラリア州	0.95	0.96	0.96	0.96	0.96	0	1.05
タスマニア州	0.15	0.16	0.16	0.16	0.16	0	6.67
オーストラリア全体	102.04	103.64	100.75	100.72	106.91	6.15	4.77
石炭(black coal, salable)(百万t)							
ニューサウスウェルズ州	31.71	31.99	29.93	31.66	33.00	4.23	4.07
クィーンズランド州	43.40	45.18	42.90	43.90	48.66	10.84	12.12
西オーストラリア州	1.58	1.58	1.58	1.60	1.64	2.5	3.8
南オーストラリア州	0.95	0.96	0.96	0.96	0.96	0	1.05
タスマニア州	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0	0
オーストラリア全体	77.78	79.86	75.52	78.27	84.41	7.8	8.52

出典: ABARE, Australian Mineral Statistics December Quarter 2006, 14 March 2007

オーストラリアの主要製錬所生産統計

製錬所/精錬所	2006 第1四半期	2006 第2四半期	2006 第3四半期	2006 第4四半期	2007 第1四半期	2007 第2四半期	前期比(%)	前年同期比(%)
銅製錬所 (t)								
Olympic Dam	47,100	54,600	41,600	39,700	53,600	47,600	-11.19	-12.82
Mt Isa *1	N.D	N.D	N.D	213,000	N.D	N.D	N.D	N.D
Port Pirie	1,019	1,014	553	974	1,032	N.D	N.D	N.D
亜鉛製錬所 (t)								
Hobart	49,547	55,288	66,919	63,060	60,346	N.D	N.D	N.D
Port Pirie	8,721	9,362	6,330	8,898	9,622	N.D	N.D	N.D
Cockle Creek *2	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
Townsville *2, *1	N.D	N.D	N.D	209,200	N.D	N.D	N.D	N.D
鉛製錬所 (t)								
Port Pirie	59,956	62,764	24,476	58,993	47,215	N.D	N.D	N.D
Cockle Creek	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
銀(Oz)								
Port Pirie	2,963,200	3,448,200	2,067,600	3,075,200	2,697,898	N.D	N.D	N.D
Cockle Creek *2	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
ニッケル精錬所 (t)								
Kalgoorlie	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
Kwinana	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
Nickel West *3	20,300	24,500	24,500	28,000	25,000	25,700	3	5
Yabulu	7,000	4,300	7,300	7,500	8,000	9,300	16	116
アルミナ精錬所 (t)								
Queensland (QAL)	956,000	986,000	936,000	993,000	945,000	938,000	-0.74	-4.87
Worsley	834,000	807,000	819,000	902,000	823,000	893,000	8.51	10.66
Gove *1	N.D	N.D	N.D	1,615	N.D	N.D	N.D	N.D
Kwinana	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
Pinjarra *4,*5	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
Comalco (Yarwun)	257,000	322,000	302,000	360,000	296,000	323,000	9.12	0.31
Wagerup	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D	N.D
アルミニウム精錬所 (t)								
Boyne Island	134,700	135,900	138,000	136,500	136,100	137,800	1.25	1.4
Bell Bay	43,200	43,700	45,100	45,000	43,600	45,000	3.2	2.97
金 (Oz)								
Port Pirie	4,080	4,600	3,100	4,800	4,662	N.D	N.D	N.D

出典)各社年次報告書及び四半期報告書

*1 年間生産量のみ公表

*2 2003年9月12日閉鎖

*3 Kalgoorlie製錬所とKwinana精錬所含む

*4 年間生産能力

*5 2005年末増強

オーストラリアの主要鉱山生産統計

鉱山名	2006 第2四半期		2006 第3四半期		2006 第4四半期		2007 第1四半期		2007 第2四半期		前期比	前年同期比
	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)		
銅(t)												
Mt Isa	3.75	100,342	N.D.	N.D.	*1	*1	N.D.	N.D.	3.0	78,452	N.D.	-21.82%
Olympic Dam	2.10	54,600	2.10	41,600	2.21	39,700	1.96	53,600	1.9	47,600	-11.19%	-12.82%
Ernest Henry	0.96	47,804	N.D.	N.D.	年 0.89	年 84,000	N.D.	N.D.	0.8	39,512	N.D.	-17.35%
Northparkes	1.53	20,700	1.57	21,000	1.57	22,200	1.38	17,200	1.0	12,300	-28.49%	-40.58%
Ridgeway	0.71	9,157	0.75	9,635	0.73	9,386	0.75	9,475	0.7	9,443	-3.34%	3.12%
Osborne	1.86	8,165	2.05	6,804	2.04	6,350	2.23	9,072	2.1	20,865	129.99%	155.50%
Cadia Hill	0.14	4,825	0.14	5,044	0.14	5,103	0.17	6,376	0.2	6,659	4.44%	38.01%
Nifty	1.46	6,503	2.75	10,900	2.70	9,452	2.50	8,168	4.0	12,945	58.48%	99.06%
亜鉛(t)												
Century	12.30	130,592	11.60	114,526	11.30	124,405	11.50	122,602	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Mt Isa	6.70	94,204	N.D.	N.D.	N.D.	年 210,000	*1	*1	N.D.	115,248	N.D.	22.34%
McArthur River	10.90	65,741	N.D.	N.D.	4.00	年 30,000	*1	*1	10.2	70,549	N.D.	7.31%
Broken Hill North, South	7.50	36,700	6.00	30,200	6.00	28,000	4.90	11,800	6.0	22,000	86.44%	-65.46%
Rosebery	16.40	22,300	14.00	22,292	12.10	19,767	12.40	20,857	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Cannington	4.10	14,926	3.50	10,426	3.10	8,806	3.60	15,095	3.0	11,355	-24.78%	-23.92%
Endeavor	6.80	6,250	6.30	11,000	6.80	16,300	6.60	14,500	5.1	10,400	-28.28%	66.40%
Pillara	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Broken Hill	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
鉛(t)												
Cannington	10.90	55,507	10.70	48,977	8.80	36,454	10.50	62,974	10.3	62,409	-0.99%	12.43%
Mt Isa *1	4.10	61,194	N.D.	N.D.	*1	*1	N.D.	N.D.	N.D.	56,669	N.D.	-7.39%
Broken Hill North, South	4.50	20,900	4.20	20,600	3.90	16,900	3.50	8,500	4.1	14,500	70.59%	-30.62%
Century	1.90	17,039	1.40	12,396	1.10	8,706	1.10	9,777	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
McArthur River	3.90	13,827	N.D.	N.D.	年 4	年 30,000	N.D.	N.D.	4.1	16,159	N.D.	16.87%
Endeavor	4.00	3,500	3.70	5,980	4.00	9,080	3.30	6,900	2.5	4,600	-33.33%	31.43%
Rosebery	5.80	5,128	4.60	6,517	4.10	5,859	3.80	5,293	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Broken Hill	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Pillara	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
ニッケル(t)												
Nickel West	N.D.	24,500	N.D.	24,500		28,000	N.D.	25,000	N.D.	25,700	2.80%	4.90%
Murrin Murrin	N.D.	6,758	N.D.	9,202	1.36	8,262	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Leinster	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	*2	*2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Cosmos	5.84	3,331	4.55	2,361	5.59	3,027	2.79	1,709	3.1	3,027	77.12%	-9.13%
Mt Keith	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	*2	*2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Kambalda	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	*2	*2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
金(Oz)												
Super Pit	2.23	176,200	2.19	159,400	1.95	158,000	1.89	148,000	2.0	164,000	10.81%	-6.92%
St Ives	2.20	116,450	2.30	123,362	2.20	124,600	2.10	119,400	2.4	119,536	0.11%	2.65%
Tanami Newmont	4.01	90,500	5.14	103,000	5.73	129,200	5.04	102,000	5.8	128,000	25.49%	41.44%
Ridgeway	2.50	98,334	2.14	83,857	1.85	73,352	1.97	74,637	2.0	82,182	10.11%	-16.43%
Granny Smith	0.18	92,000	0.09	63,000	2.78	66,000	2.26	48,000	1.8	42,000	-12.50%	-54.35%
Cadia Hill	0.44	41,882	0.39	38,643	0.44	45,922	0.66	70,535	0.8	91,561	29.81%	118.62%
Plutonic	0.14	57,000	0.13	54,000	4.80	60,000	4.29	59,000	3.5	53,000	-10.17%	-7.02%
Pajingo(Vera Nancy)	8.64	34,000	11.69	50,100	14.88	61,200	10.80	45,000	8.9	39,000	-13.33%	14.71%
銀(Oz)												
Cannington	469.0	7,503,000	385.0	5,714,000	360.0	4,805,000	477.0	9,160,000	493.0	9,426,000	2.90%	25.63%
Mt Isa	N.D.	3,570,000	N.D.	N.D.	N.D.	年 6,270,000	N.D.	N.D.	N.D.	3,192,000	N.D.	-10.59%
Century	60.2	1,866,000	55.1	1,626,400	39.5	1,232,200	32.8	1,025,962	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Rosebery	183.5	765,860	135.0	661,500	148.5	695,400	187.9	807,209	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Golden Grove	1,500.0	445,800	1,721.3	535,946		1,031,142	N.D.	511,167	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
McArthur River	N.D.	533,000	N.D.	N.D.	年 43	年 1,447,000	N.D.	N.D.	N.D.	年 597,000	N.D.	12.01%
Endeavor	35.0	76,197	32.0	124,745	32.0	170,399	31.0	141,463	35.0	122,170	-13.64%	60.33%
ウラン(t)												
Ranger		596	2.01	1,103	3.40	1,662	2.80	1,006	3.0	1,490	48.11%	150%
Olympic Dam	0.55	865	0.57	793	0.58	822	0.59	883	0.6	988	11.89%	14.22%
Beverley	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
マンガン(t)												
Groote Eylandt	N.D.	716,000	N.D.	865,000	N.D.	866,000	N.D.	820,000	N.D.	888,000	8.29%	24.02%
Woodie Woodie	N.D.	214,720	N.D.	244,975	N.D.	226,631	N.D.	196,256	N.D.	234,190	19.33%	9.07%
ミネラルサンド(t)												
Mid West (Zircon)	N.D.	61,911	N.D.	61,222	N.D.	64,381	N.D.	53,876	N.D.	55,247	2.54%	-10.76%
Tiwest (Zircon)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.
Wemen (Zircon)	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	N.D.	N.D.
Hawks (Zircon)	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	N.D.	N.D.
Mid West (Rutile)		21,941		24,858	N.D.	25,515	N.D.	20,873	N.D.	19,163	N.D.	-12.66%
Tiwest (Rutile)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.
Wemen (Rutile)	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	N.D.	N.D.
Hawks (Rutile)	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	N.D.	N.D.
Tiwest (Leucosene)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.
Mid West (Ilmenite)	N.D.	152,873	N.D.	159,056	N.D.	142,749	N.D.	156,067	N.D.	154,987	-0.69%	1.38%
Tiwest (Ilmenite)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.
Wemen (Ilmenite)	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	N.D.	N.D.
Hawks (Ilmenite)	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	N.D.	N.D.
ボーキサイト(t)												
Weipa	N.D.	3,815	N.D.	4,036	N.D.	4,444	N.D.	4,229	N.D.	4,233	0.09%	10.96%
Gove	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	*6	4,767	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Huntly	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Willowdale	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Worsley	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	N.D.	N.D.

出典: 各社年次報告書及び四半期報告

*1 半期データのみ

*2 Nickel Westに含まれる

*3 Tiwestの総生産量のみ

*4 再開準備中(2005年アナウンスレポートより)

*5 Hawks Nestプラントは2005年9月に撤去

*6 ボーキサイト生産量のデータなし

(6) 中国の鉱産物生産量

(単位：t)

鉱産物	2006												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-12月計
銅精鉱(t)	63,319	43,969	53,522	54,921	66,543	62,308	60,196	62,629	62,942	60,744	64,583	66,896	722,572
銅地金(t)	224,460	237,076	232,848	242,657	243,609	245,448	236,209	250,348	248,420	247,946	250,564	248,505	2,908,090
鉛精鉱(t)	37,553	42,918	51,330	55,282	58,686	92,553	60,963	63,958	58,772	52,751	54,557	79,063	708,386
鉛地金(t)	170,888	206,096	255,433	226,160	247,283	234,637	202,509	201,289	248,699	252,014	262,317	262,813	2,770,137
亜鉛精鉱(t)	98,501	165,146	170,292	176,751	184,453	201,433	172,458	184,839	186,325	173,280	172,422	192,766	2,078,664
亜鉛地金(t)	185,394	238,653	260,079	254,496	271,705	257,481	243,921	247,204	272,303	279,901	305,351	302,437	3,118,924
ニッケル(t)	7,198	9,512	7,861	8,691	7,322	8,447	8,158	8,039	9,687	9,866	12,782	15,463	113,026

(注)1-12月計は、安泰科の12月の資料を基にしているため、各月の合計とは異なる場合がある。

鉱産物	2007							1-6月
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	1-6月計	07/06
銅精鉱(t)	60,406	59,073	62,919	62,919	66,885	73,921	390,268	-11.7%
銅地金(t)	250,400	246,806	238,019	238,019	267,243	291,814	1,576,516	-9.5%
鉛精鉱(t)	39,461	42,759	59,007	59,007	63,351	97,213	374,157	-9.6%
鉛地金(t)	198,187	189,228	210,997	210,997	256,191	243,865	1,365,233	-1.8%
亜鉛精鉱(t)	126,806	134,851	174,923	174,923	213,358	284,779	1,151,253	-13.4%
亜鉛地金(t)	279,686	281,532	305,693	305,693	303,352	320,536	1,814,227	-19.1%
ニッケル(t)	10,540	9,855	9,518	9,518	9,534	10,045	59,141	-17.1%

出典：安泰科

2. 主要鉱山の生産統計

(1) Grasberg 鉱山

鉱産物	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
銅(t)	117,479	147,600	212,600	212,099	140,613
金(oz)	326,000	456,400	571,300	1,074.7	889.0
銅品位(%)	0.72	0.85	1.08	1.21	0.72
金品位(g/t)	0.67	0.83	0.95	0.92	1.63

(2006年第1四半期及び2007年第1四半期の銅の生産量については、Freeport McMoRan社の2007年第1四半期報告のポンド表示で公表されていたものを1l=453.59gで換算した。)

出典：Freeport McMoRan HP

(2) Morenci 鉱山

鉱産物	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
電解銅(千t)	95.7	88.4	88.1	71.6	83.4

(2006年第1四半期及び2007年第1四半期については、Freeport McMoRan社の2007年第1四半期報告のポンド表示で公表されていたものを1l=453.59gで換算した。2006年第2四半期から2006年第4四半期については、short tonsで公表されているものを1short ton=0.9072tで換算した。)

出典：Freeport McMoRan HP、旧 Phelps Dodge HP

(3) Antamina 鉱山(鉱山全体生産量)

鉱産物	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期
銅(千t)	89.4	88.9	104.7	74.4	81.0
亜鉛(千t)	44.1	47.4	38.3	72.2	97.1
銅品位(%)	1.43	1.21	1.41	1.10	1.16
亜鉛品位(%)	2.31	0.87	0.65	2.42	3.32

出典：Teck Cominco HP

平成 19 年度情報収集事業報告書 第 5 号

クォーターリー・レビュー

—資源メジャーの 2007 年第 2 四半期動向—

平成 19 年 11 月 発行

発行：独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

金属資源開発本部 企画調査部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番

電話：044-520-8590 FAX:044-520-8750 E-mail:mric@jogmec.go.jp

http://www.jogmec.go.jp/mric_web/
